

消防年報

平成 2 9 年 版
(平成 3 0 年 刊 行)



三重紀北消防組合消防本部

は じ め に

- 1 この年報は、平成 2 9 年中の三重紀北消防組合における消防諸般の現状を収録し、併せて将来の消防行政の参考に資することを目的として編集したものであります。
- 2 この統計は、特別記載を除き、平成 2 9 年 1 2 月末日をもって収録しました。
- 3 三重紀北消防組合は、尾鷲市・紀北町の 1 市 1 町にて構成されています。

平成 3 0 年 6 月

三重紀北消防組合消防本部

目 次

情 勢

三重紀北消防組合の位置と情勢・・・・・・・・・・・・・・・・	1
三重紀北消防組合の設立経過、消防本部・消防署の発足・・・・・・・・	2
消防沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3～8
歴代管理者、歴代消防長・・・・・・・・・・・・・・・・	9

組 合 組 織

組 織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
一般会計当初予算（歳入・歳出）・・・・・・・・	11
平成29年度構成市町一般会計と消防予算の比較（当初）・・・・・・	12
平成28年度構成市町一般会計と消防予算の比較（当初）・・・・・・	12
消防費決算と職員・人口・世帯数の推移、平成29年度一般会計当初予算内訳・・	13

消 防 情 勢

三重紀北消防組合機構図・・・・・・・・・・・・・・・・	14
消防本部事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・	15
消防本部事務分掌、消防署事務分掌・・・・・・・・	16
消防庁舎の現況・・・・・・・・・・・・・・・・	17
消防職員配置表、市町別面積・人口情勢・・・・・・・・	18
消防職員階級別年齢表・・・・・・・・・・・・・・・・	19
消防職員階級別勤続年数表・・・・・・・・・・・・・・・・	20
消防職員技術資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・	21
消防車両等の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・	22
消防資機材一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	23・24
通信系統図・・・・・・・・・・・・・・・・	25
施設状況・・・・・・・・・・・・・・・・	26
三重紀北消防組合消防本部・署・出張所配置図・・・・・・・・	27

火 災 統 計

火災種別概要、市町別火災概要・・・・・・・・	28
月別火災概要、曜日別火災概要、時間別火災概要・・・・・・・・	29
用途別火災原因状況・・・・・・・・・・・・・・・・	30
市町別火災件数の前年対比、市町別損害額の前年対比、過去5年間の火災状況・・	31
時間別火災発生件数、天候別火災発生件数、火災予防週間中の火災発生件数・・	32

救 急 統 計

医療機関状況、月別出場件数、曜日別出場件数・	33
事故種別出場件数、署別出場件数・	34
月別救急搬送状況・	35
傷病程度別搬送人員、救急隊員の行った応急処置件数・	36
過去5年間の出場状況、過去5年間の搬送人員状況・	36
過去10年間の救急出場件数・搬送人員の推移・	37

予 防 統 計

市町別危険物施設状況・	38
危険物製造所等数量・類別表・	39
市町別防火対象物一覧表・	40
月別用途別建築同意状況・	41
尾鷲石油コンビナート区域現況、屋外貯蔵タンクの容量別基数・	42
自衛防災組織・消防機関等の防災資機材・	43

幼年消防クラブ

幼年消防クラブ員数・幼年消防クラブ結成状況・	44
----------------------------------	----

消 防 団

消防団現勢・	45
消防団員報酬状況、消防団員諸手当状況、市町別消防団出場状況・	46
年齢別消防団員数、在職年数別消防団員数・	47
消防団ポンプ配置図・	48

情 勢

三重紀北消防組合の位置と情勢・・・・・・・・・・・・・・・・	1
三重紀北消防組合の設立経過、消防本部・消防署の発足・・・・・・・・	2
消防沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3～8
歴代管理者、歴代消防長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9



消防本部・尾鷲消防署



海山消防署

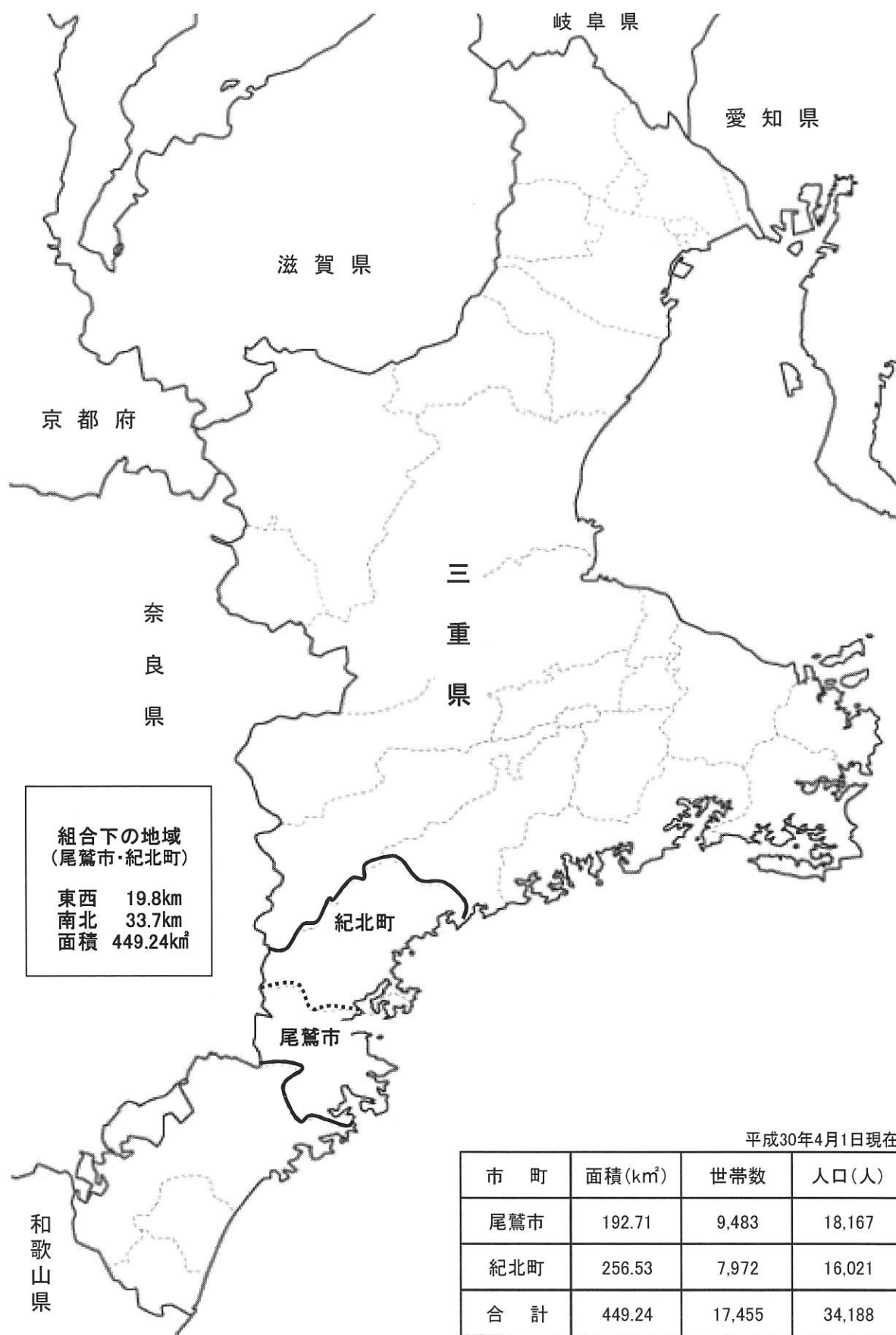


紀伊長島消防署



輪内出張所

三重紀北消防組合の位置と情勢



平成30年4月1日現在

市 町	面積(km ²)	世帯数	人口(人)
尾鷲市	192.71	9,483	18,167
紀北町	256.53	7,972	16,021
合 計	449.24	17,455	34,188

三重紀北消防組合の設立経過

昭和45年当初に広域行政推進の一環として尾鷲市、北牟婁郡海山町、紀伊長島町をもって消防一部事務組合を設立し、消防の広域化による防災体制の充実強化を図るべく昭和46年3月末、三重紀北消防組合結成の準備が完了した。

各市町会議では、さきに組合契約をそれぞれ議会で決議し昭和46年4月1日付けで知事より許可される。

昭和46年4月1日、尾鷲市役所会議室に於いて第1回組合会議を招集し、消防組合会議を開催。

管理者等管理機構を定め正式に発足した。

消防本部・消防署の発足

昭和46年4月1日組合消防の発足とともに、組合消防本部を尾鷲市におき、尾鷲市、海山町、紀伊長島町にそれぞれ消防署を置く。

組合消防本部、消防署の設置に伴い、尾鷲市消防本部職員42名、海山町消防本部職員11名、紀伊長島町消防本部職員10名を4月1日付けで新たに組合職員として任命し、それぞれ所属の消防本部、消防署に配属を命じて組合消防事務を開始した。

消防庁舎、消防車両、消防機材器具、各種装備等については、従来配備されていたものをそのまま組合に貸与、又は提供されて使用することとなった。

消 防 沿 革

明治2年大政奉還となり、同4年廃藩置県によって当地方は度会県に属したが同9年度度会県が廃せられ三重県となり、同21年郡制の実施によって当地方は北牟婁郡となる。

同22年4月に至って町村制が実施され、各近隣の浦村が合併して尾鷲、相賀、引本、長島、錦の5ヶ町と九鬼、須賀利、桂城、船津、三野瀬、赤羽、二郷の7ヶ村とが北牟婁郡に属したが、この頃までの消防の起源についてあきらかでない。

明治の中期までは何等の組織もなく、近所、隣の申し合せ、または町の有力者が各々水桶を持ち寄って消火に当たっていた模様であるが、明治22年旧村制が施行され、始めて義勇消防組が誕生して団体的行動のできる組織がつけられた。

しかし、当時は未だ機械的なものはなく、主として破壊による消火作業を主とする原始的なものであった。

爾来、幾度か改変がなされ、人的にもまた装備にも増強と改良が加えられて今日に至った。

明治22年 2月	尾鷲町に義勇消防組が発足した。
明治23年 2月	公設消防組を結成し、費用は公費を以って支弁する。消防の指揮は警察署長があたる。
明治29年 3月	当地方に初めて消防機械として腕用ポンプが登場した。
大正12年 8月	当地方の先駆けをきって尾鷲町が初めて手引ガソリンポンプを購入、これにより各町村が消防の機械化に努力した。
昭和14年 1月	警防団令が施行され、防空任務も付与されて従来の消防組が警防団に改組する。
昭和22年 4月 9月	勅令185号により消防団令配布、従来の警防団が解消し、消防団として発足する。消防組織法に基づき消防団条例を制定、警察の指揮下にあった消防が町村長の管理する自治体消防として現在の消防の基礎が出来た。
昭和29年 6月 8月	尾鷲町が須賀利、九鬼村、他、南牟婁郡北輪内村、南輪内村の1町4ヶ村が合併して尾鷲市として発足する。北牟婁郡は4町5ヶ村となる。 相賀町、引本町、桂城村、船津村が合併し、海山町となる。昭和30年2月長島町は昭和25年12月二郷村と合併し、次いで昭和30年1月三野瀬村と合併。更に同年2月赤羽村と合併し、紀伊長島町となる。
昭和30年 4月	尾鷲市に消防本部を設置する。
昭和32年 1月 12月	錦が度会郡に編入され、従来の北牟婁郡が紀伊長島町と海山町の二町だけとなる。 紀伊長島町に消防本部を設置する。
昭和38年 6月 11月	海山町に消防本部を設置する。 尾鷲市消防本部庁舎（中村町）落成。
昭和44年 4月	政令指定により尾鷲市に救急業務を開始する。
昭和46年 4月	尾鷲市、海山町、紀伊長島町の消防本部が合併し、一部事務組合を組織「三重紀北消防組合」と称し、機構を1本部3署とする。

昭和46年 4月	組合本部を尾鷲市に置き、尾鷲、海山、紀伊長島にそれぞれ消防署を置く。
4月	尾鷲消防署に輪内、九鬼、須賀利 3 出張所を置く。
9月	南部集中豪雨で尾鷲市賀田町にて死者13名、古江町にて死者13名発生。
12月	紀伊長島消防署加田へ新庁舎新築移転。
昭和47年 4月	本部に指令車配備する。
5月	紀伊長島消防署に救急車を配備する。
8月	海山消防署に救急車を配備する。
昭和48年 8月	尾鷲消防署に救急車（第2号）を配備する。
昭和50年 6月	三重紀北消防組合消防本部新庁舎（上中川）落成、旧庁舎を分署とする。
7月	尾鷲消防署輪内出張所に救急輪内1号を配備。
昭和51年 2月	尾鷲市泉町山林火災 40ha焼失する。
4月	尾鷲消防署に救急車更新する。
11月	尾鷲消防署に日本損害保険協会より、化学車寄贈される。
11月	消防本部に次長を置く。
昭和52年 4月	尾鷲消防署に28m級梯子車1台を配備。
11月	組合副管理者 2 名を 3 名に改めて尾鷲市助役が副管理者となる。
昭和53年 4月	尾鷲消防署分署を廃止する。
9月	海山消防署に水槽付消防車を更新する。
10月	紀伊長島消防署に普通消防車更新する。
11月	尾鷲消防署に超短波固定局10wを 3 機購入し輪内・九鬼・須賀利出張所に設置する。
昭和55年 2月	紀伊長島消防署に日本損害保険協会より救急車が寄贈され更新する。
3月	大型化学車・泡原液搬送車を購入し、尾鷲消防署に配備する。（石油コンビナート三点セットが整備される。）
5月	尾鷲消防署に救急車更新する。
11月	海山消防署に普通消防車更新する。
12月	海山消防署に日本損害保険協会より、救急車（2 B 型）が寄贈される。
12月	尾鷲消防署に普通消防車更新する。
昭和56年12月	紀伊長島消防署に水槽付消防車を更新する。
昭和57年 8月	尾鷲消防署に（財）日本防火協会より救急車（2 B 型）が寄贈され更新する。
昭和58年10月	矢ノ川峠（小坪）に無線中継所局舎新設。
12月	三重紀北地域救急医療情報システム運用開始。
昭和59年10月	第 4 回豊かな海づくり大会行啓警備（紀伊長島町）。
昭和60年12月	尾鷲消防署に水槽付消防車（2 型）を配備する。
昭和61年 1月	紀伊長島町に、三重県共済農協連合会より救急車（2 B 型）が寄贈され更新する。
昭和62年 4月	尾鷲消防署に日本損害保険協会より、化学車寄贈される。
12月	尾鷲消防署に普通消防車（CD- I 型）更新する。
12月	尾鷲消防署に可搬式高圧送水装置を石油備蓄交付金で購入する。
昭和63年 3月	消防本部に通信指令台を購入し設置する。

昭和63年 3月	矢ノ川無線中継所の中継機器を更新するとともに通信方式を一新する。
5月	消防本部指令車を更新する。
8月	尾鷲消防署に広報車が日本消防協会互助年金より寄贈される。
12月	尾鷲消防署に救急車、指令車を石油備蓄交付金で購入し更新する。
12月	海山消防署に救急車、指令車を石油備蓄交付金で購入し更新する。
平成元年 3月	尾鷲消防署に消火剤貯蔵タンク(20,000ℓ)を石油備蓄交付金にて設置する。
3月	紀伊長島消防署庁舎を増築する。
4月	尾鷲消防署より尾鷲市防災係へ1名派遣。
平成2年 3月	尾鷲市中井町大火。
12月	海山消防署に水槽付消防車(1-A型)購入し更新する。
平成3年 1月	尾鷲消防署に救急車(2-B型)を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
平成4年 5月	尾鷲消防署に梯子付消防車(10m級)を石油備蓄交付金にて配備する。
平成5年 3月	紀伊長島消防署に救急車(2-B型)を更新する。
3月	尾鷲消防署は輪内出張所庁舎を石油備蓄交付金にて新築する。
8月	九鬼分遣所廃止。
平成6年 3月	紀伊長島消防署に指令車を更新する。
8月	消防本部に高圧施設移動積載車を購入し配備する。
12月	尾鷲消防署に指令車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
平成7年 3月	尾鷲消防署に化学消防車(1型)、救急車(2-B型)を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
4月	尾鷲消防署より尾鷲市防災係へ2名(増員)派遣。
平成8年 4月	紀伊長島消防署より紀伊長島町防災係へ1名派遣。
12月	海山消防署に救急車(2-B型)を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
平成9年 3月	紀伊長島消防署に水槽付消防車(1-A型)を一般財源にて購入し更新する。
3月	尾鷲消防署に救急車(高規格)を石油備蓄交付金にて購入し配備する。
4月	海山、紀伊長島消防職員各1名消防本部への異動実施。
4月	尾鷲消防署より尾鷲市防災係へ3名(増員)派遣。海山消防署より海山町防災係へ1名派遣。
4月	尾鷲消防署は指令室担当係設置専属業務につく。
11月	海山消防署に簡易水槽用積載車を石油備蓄交付金にて購入し配備する。
平成10年 4月	海山及び紀伊長島消防署より各2名消防本部へ異動し10名体制とする。
4月	尾鷲消防署輪内出張所へ専任の出張所長を配置する。
11月	尾鷲消防署輪内出張所に指令車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
11月	海山消防署に指令車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
12月	尾鷲消防署に普通消防ポンプ自動車(CD-I型)を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
平成11年 8月	消防本部に指令車を更新する。
12月	紀伊長島消防署に救急車(2-B型)購入し更新する。
平成12年 2月	海山町中里地内日向山(ひなたやま) 山林火災。焼失面積 9ha

平成12年11月	組合消防30周年記念 消防フェスタミレニアム開催。
12月	尾鷲消防署輪内出張所の救急車（2 B型）を更新する。
平成13年 7月	紀伊長島消防署に普通車（積載車）を購入し更新する。
平成14年 1月	海山町相賀密集地火災。
3月	紀伊長島消防署に高規格救急車を購入して配備する。
3月	尾鷲消防署に大型化学消防車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
4月	尾鷲市、海山町、紀伊長島町が東海地震の「地震防災対策強化地域」に指定される。
平成15年 3月	尾鷲消防署に泡原液搬送車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
10月	紀伊長島消防署に指令車を購入し更新する。
12月	尾鷲市、海山町、紀伊長島町が「東南海、南海地震防災対策推進地域」に指定される。
12月	海山消防署に高規格救急車を購入し配備する。
平成16年 1月	尾鷲消防署に資機材搬送車を石油備蓄交付金にて購入し配備する。
3月	尾鷲消防署に指令車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
4月	消防本部に大規模震災担当監、企画調整監を新設、16名体制とする。
7月	熊野古道は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録される。
9月	台風21号と秋雨前線の影響で記録的な豪雨となり、海山町では死者2名をはじめ、紀北地区で2,001棟を超える床上、床下浸水等人的、物的被害が発生。
9月	消防本部にエアーテント一式を購入し配備する。
10月	消防本部に救命ボート2隻を購入し配備する。
11月	海山消防署に水槽付消防車（1-A型）を消防防災設備整備費補助金にて購入し更新する。
12月	
平成17年 3月	尾鷲消防署に高規格救急車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
7月	携帯電話の緊急通報（119）が直接受信となる。
8月	消防本部に船外機付救命ボート3隻を購入し配備する。
10月	海山町、紀伊長島町が合併し紀北町になり、三重紀北消防組合構成市町は、尾鷲市、紀北町の1市1町となる。
平成18年 2月	尾鷲消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
2月	紀伊長島消防署に普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を消防防災設備整備費補助金（緊急援助隊）にて購入し更新する。
6月	消防本部に軽広報車を購入し更新する。
7月	消防本部に三重紀北消防組合水難救助隊を発足する。
8月	消防本部に移動式大型照明設備（発電機付き）を三重県緊急地震対策促進事業補助金にて3台購入し、各署に配備する。
12月	尾鷲消防署輪内出張所に軽積載車を石油備蓄交付金にて購入し配備する。
12月	海山消防署に普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を石油備蓄交付金にて購入し更新する。

平成19年 3月 6月	衛星携帯電話を三重県緊急地震対策促進事業補助金にて購入する。 尾鷲消防署に救急救命士訓練用高度シミュレーター人形1体を購入し配備する。
平成20年 4月 6月	紀北消防組合管内（尾鷲市・紀北町）の119番受信体制が消防本部通信室に集中管理となり、各署に対し出動指令の発するシステムが運用開始される。 消防本部に公用車を購入し更新する。
平成21年 3月	海山消防署に高規格救急車を消防施設等整備費補助金にて購入し更新する。
平成22年 3月 3月 3月 3月	紀伊長島消防署に高規格救急車を消防防災設備費補助金（緊急援助隊）にて購入し更新する。 尾鷲消防署に普通消防ポンプ自動車（CD-I型）及び軽資機材搬送車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。 尾鷲消防署に軽積載車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。 消防本部に指揮車を石油備蓄交付金にて購入し更新する。
平成23年 3月 4月	東北地方太平洋沖地震に係る緊急消防援助隊第3次隊派遣。 消防本部消防課、総務課を統括し、消防・総務課とする。
平成24年 1月 3月 3月 9月	尾鷲消防署に高所放水車（A-1ポンプ・25m級）を一般財源にて購入し更新する。 尾鷲消防署に高規格救急車を一般財源・県補助金にて購入し更新する。 海山消防署に指令車を一般財源にて購入し更新する。 海山消防署に資機材搬送車を一般財源にて購入し更新する。
平成25年 3月 9月 12月	尾鷲消防署に普通ポンプ自動車（CD-I型・CAFS）を一般財源にて購入し更新する。 尾鷲消防署庁舎耐震補強工事着工。 紀伊長島消防署に水槽付消防ポンプ自動車兼救助対策車（1-A型）を一般財源にて購入し更新する。
平成26年 1月 6月 5月 9月 12月 12月 12月	尾鷲消防署庁舎耐震補強工事完成。 消防本部通信指令室3Fに移設工事着工。 消防本部デジタル無線、通信指令台整備工事着工。 消防本部通信指令室3Fに移設工事完成。 消防本部に指揮支援車を一般財源にて購入し更新する。 尾鷲消防署に救助工作車を一般財源にて購入し更新する。 輪内出張所に高規格救急車を一般財源にて購入し更新する。
平成27年 3月 3月 11月 12月 12月	消防本部に広報車を一般財源にて購入し更新する。 紀北町紀伊長島区の山林に民間ヘリコプター1機が墜落炎上し、乗務員2名が死亡する航空機事故が発生。 消防本部通信指令室を3Fに移転し、仮運用を開始する。 尾鷲消防署に災害対応特殊化学ポンプ自動車（CAFS）を消防防災設備費補助金（緊急援助隊）にて購入し更新する。 紀伊長島消防署に高規格救急車を一般財源にて購入し更新する。

平成28年4月	消防救急デジタル無線及び通信指令室の本運用を開始する。
4月	消防本部に指揮指令係を配置し、指揮隊運用を開始する。
5月	伊勢志摩サミット消防特別警戒派遣。
7月	消防本部に公用車を一般財源にて購入し更新する。
7月	海山消防署新庁舎起工。
10月	消防本部に軽広報車を一般財源にて購入し更新する。
12月	輪内出張所に普通ポンプ自動車（CD-I 型・CAFS）を緊急援助隊設備整備費補助金にて購入し更新する。
平成29年3月	海山消防署新庁舎完成。
5月	海山消防署新庁舎竣工式。
10月	海山消防署に高規格救急車を一般財源にて購入し更新する。
12月	紀伊長島消防署に指令車を一般財源にて購入し更新する。

歴代管理者

初 代	岩城 梯	自	昭和46年 4月	至	昭和47年 8月
第2代	長野 勝明	自	昭和47年10月	至	昭和63年 3月
第3代	杉田 晴良	自	昭和63年 4月	至	平成12年 4月
第4代	伊藤 允久	自	平成12年 4月	至	平成20年 4月
第5代	奥田 尚佳	自	平成20年 4月	至	平成21年 6月
第6代	岩田 昭人	自	平成21年 7月	至	平成29年 7月
第7代	加藤 千速	自	平成29年 8月	現	職

歴代消防長

初 代	大藤 寿夫	自	昭和46年 4月	至	昭和49年12月
第2代	長野 勝明	自	昭和50年 1月	至	昭和53年 4月
第3代	水谷 清広	自	昭和53年 4月	至	昭和55年 3月
第4代	家城 光雄	自	昭和55年 4月	至	昭和55年 4月
第5代	中森 克夫	自	昭和55年 5月	至	昭和60年 1月
第6代	長野 勝明	自	昭和60年 2月	至	昭和61年 1月
第7代	西出 正樹	自	昭和61年 1月	至	平成元年 1月
第8代	中村 純	自	平成元年 1月	至	平成 4年 3月
第9代	相賀 郁也	自	平成 4年 4月	至	平成 6年 3月
第10代	裏田 博	自	平成 6年 4月	至	平成10年 3月
第11代	塩津 宗男	自	平成10年 4月	至	平成13年 3月
第12代	倉地悦二郎	自	平成13年 4月	至	平成15年 3月
第13代	水谷 文憲	自	平成15年 4月	至	平成18年 3月
第14代	佐々木和夫	自	平成18年 4月	至	平成21年 3月
第15代	山口 浅明	自	平成21年 4月	至	平成23年 3月
第16代	宮地 忍	自	平成23年 4月	至	平成24年 3月
第17代	内山登喜男	自	平成24年 4月	至	平成25年 3月
第18代	矢野 勝義	自	平成25年 4月	至	平成26年 3月
第19代	田中 英治	自	平成26年 4月	現	職

組 合 組 織

◎ 組 織	10
◎ 一般会計当初予算（歳入・歳出）	11
◎ 平成29年度構成市町一般会計と消防予算の比較（当初）	12
平成28年度構成市町一般会計と消防予算の比較（当初）	12
◎ 消防費決算と職員・人口・世帯数の推移、平成27年度一般会計当初予算内訳	13



尾鷲市



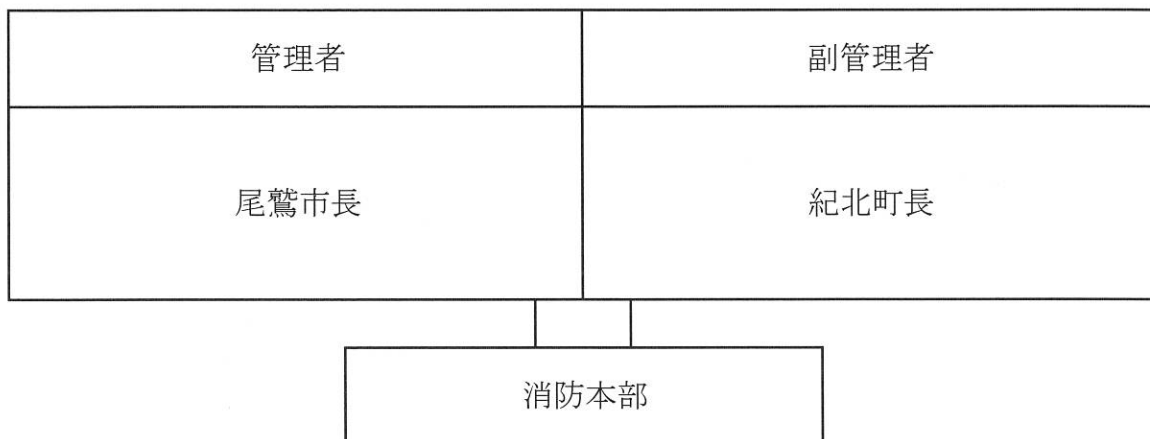
紀北町

組 織

1 組合構成市町

尾 鷲 市	紀 北 町
-------	-------

2 組合執行組織



3 組合議会構成(10名)

議長	尾鷲市議会議長			1名
副議長	紀北町議会議長			1名
議員	尾鷲市議会議員	3名	尾鷲市消防団長	1名
	紀北町議会議員	3名	紀北町消防団長	1名

4 監査委員(2名)

尾鷲市監査委員(識見を有する者)

組合議会議員(紀北町議会総務産業常任委員長)

一 般 会 計 当 初 予 算（歳入）

款 別	29年当初		28年当初		増 減 千円
	予算額 千円	構成比	予算額 千円	構成比	
分担金及び負担金	871,054	88.15%	896,107	73.21%	△ 25,053
使用料及び手数料	238	0.02%	1,198	0.10%	△ 960
県 支 出 金	51	0.01%	165	0.01%	△ 114
繰 越 金	2	0.00%	2	0.00%	0
諸 収 入	42,011	4.25%	42,995	3.51%	△ 984
組 合 債	74,800	7.57%	283,500	23.16%	△ 208,700
歳 入 合 計	988,156	100%	1,223,967	100%	△ 235,811

※ △ は マイナス

一 般 会 計 当 初 予 算（歳出）

款 別	29年当初		28年当初		増 減 千円
	予算額 千円	構成比	予算額 千円	構成比	
議 会 費	219	0.02%	183	0.01%	36
総 務 費	337,908	34.20%	300,423	24.55%	37,485
消 防 費	647,878	65.56%	921,664	75.30%	△ 273,786
公 債 費	2,121	0.21%	1,667	0.14%	454
予 備 費	30	0.00%	30	0.01%	0
歳 出 合 計	988,156	100%	1,223,967	100%	△ 235,811

※ △ は マイナス

平成29年度構成市町一般会計と消防予算の比較(当初)

(単位:千円)

市 町 別	一 般 会 計 予 算	消防費	内 訳				比率
			常備費	非常備費	施設費	水防費等	
尾 鷲 市	9,148,240	474,629	424,940	48,596	0	1,093	5.19%
紀 北 町	10,465,642	567,696	443,011	38,426	22,293	63,966	5.42%
合計	19,613,882	1,042,325	867,951	87,022	22,293	65,059	5.31%

平成28年度構成市町一般会計と消防予算の比較(当初)

(単位:千円)

市 町 別	一 般 会 計 予 算	消防費	内 訳				比率
			常備費	非常備費	施設費	水防費等	
尾 鷲 市	9,509,057	459,307	413,949	44,360	0	998	4.83%
紀 北 町	9,853,900	612,947	495,184	42,168	17,805	57,790	6.22%
合計	19,362,957	1,072,254	909,133	86,528	17,805	58,788	5.54%

消防費決算と職員・人口・世帯数の推移

年度	消防費	消防職員1人当たり		人口1人当たり		1世帯当たり	
	(千円)	実 数	(千円)	人口	(円)	世帯数	(円)
28年	1,204,332	108	11,151	34,967	34,441	17,695	68,060
27年	1,241,389	107	11,602	35,747	34,727	17,865	69,487
26年	1,211,777	102	11,880	37,402	32,398	18,290	66,253
25年	914,564	104	8,794	38,097	24,006	18,361	49,810
24年	885,572	105	8,434	38,871	22,782	18,531	44,789

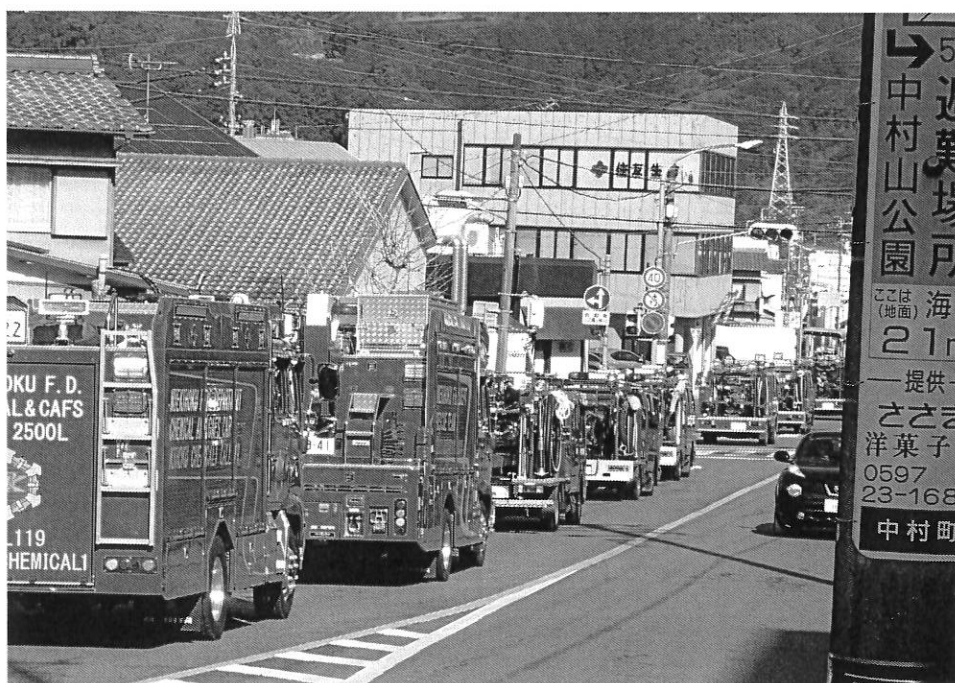
平成29年度一般会計当初予算内訳

(単位:千円)

歳 入		歳 出	
分担金及び負担金	871,054	議会費	219
使用料及び手数料	238	総務費	337,908
県支出金	51	消防費	647,878
繰越金	2	公債費	2,121
諸収入	42,011	予備費	30
組合債	74,800		
歳入合計	988,156	歳出合計	988,156

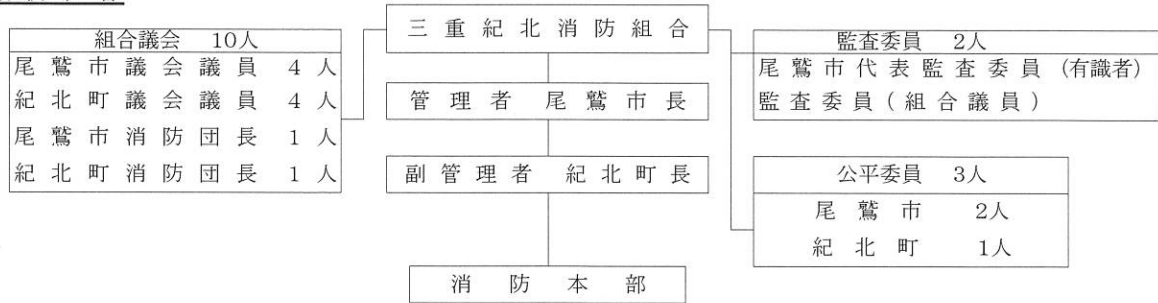
消 防 情 勢

◎ 三重紀北消防組合機構図・・・・・・・・・・・・・・・・	14
◎ 消防本部事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・	15
◎ 消防本部事務分掌、消防署事務分掌・・・・・・・・	16
◎ 消防庁舎の現況・・・・・・・・・・・・・・・・	17
◎ 消防職員配置表、市町別面積・人口情勢・・・・・・	18
◎ 消防職員階級別年齢表・・・・・・・・・・・・・・・・	19
◎ 消防職員階級別勤続年数表・・・・・・・・・・・・・・・・	20
◎ 消防職員技術資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・	21
◎ 消防車両等の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・	22
◎ 消防資機材一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	23・24
◎ 通信系統図・・・・・・・・・・・・・・・・	25
◎ 施設状況・・・・・・・・・・・・・・・・	26
◎ 三重紀北消防組合消防本部・署・出張所配置図・・	27

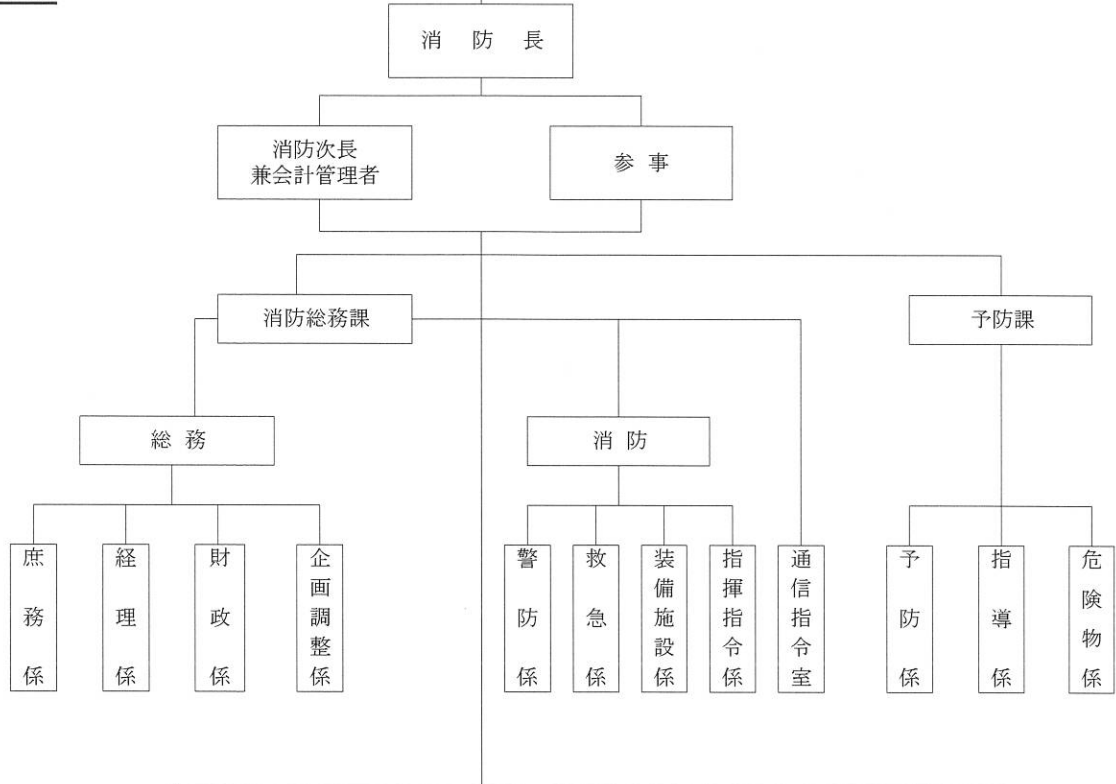


三重紀北消防組合機構図

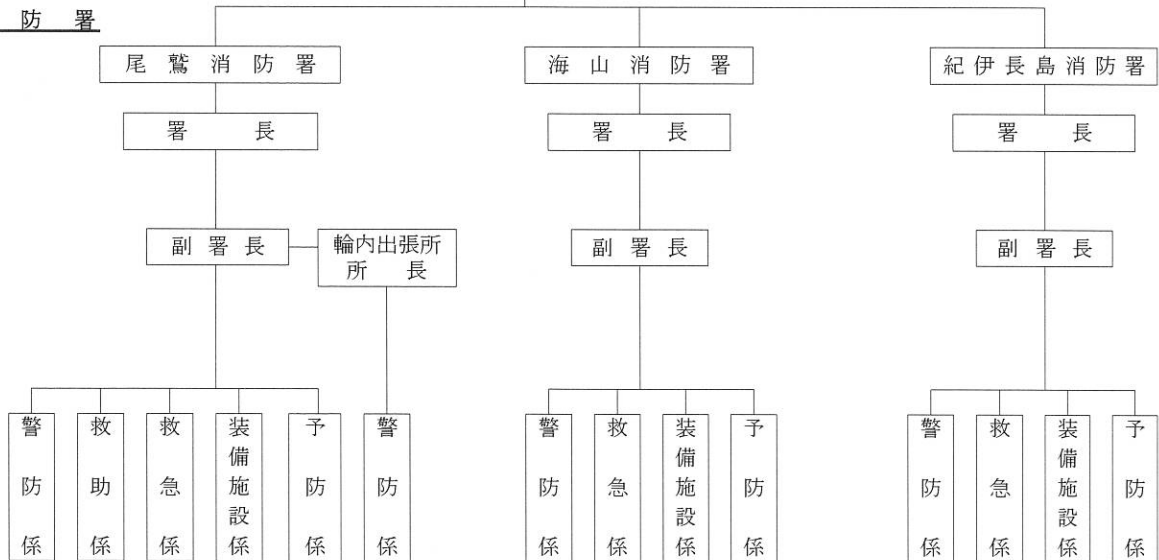
消 防 組 合



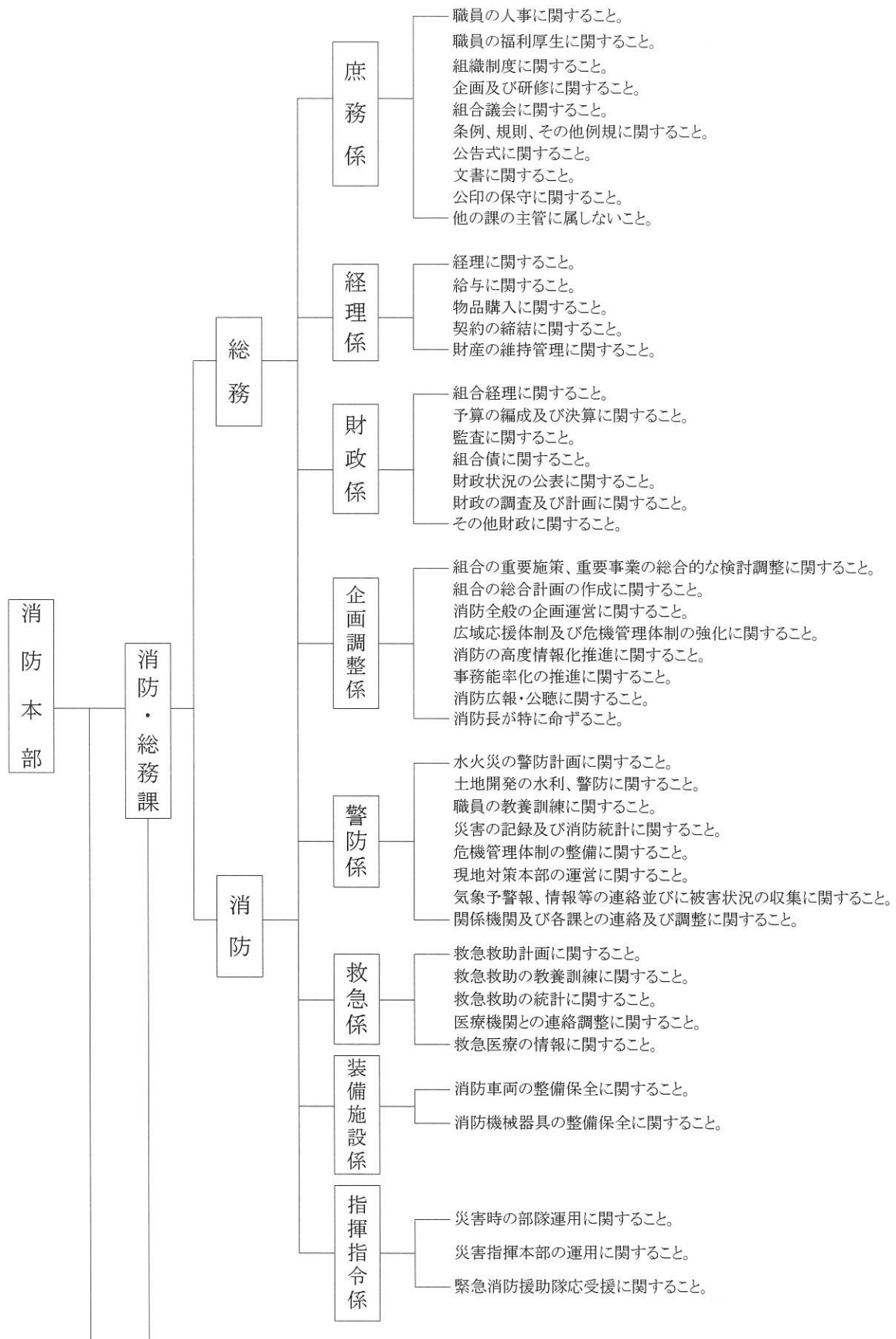
消 防 本 部



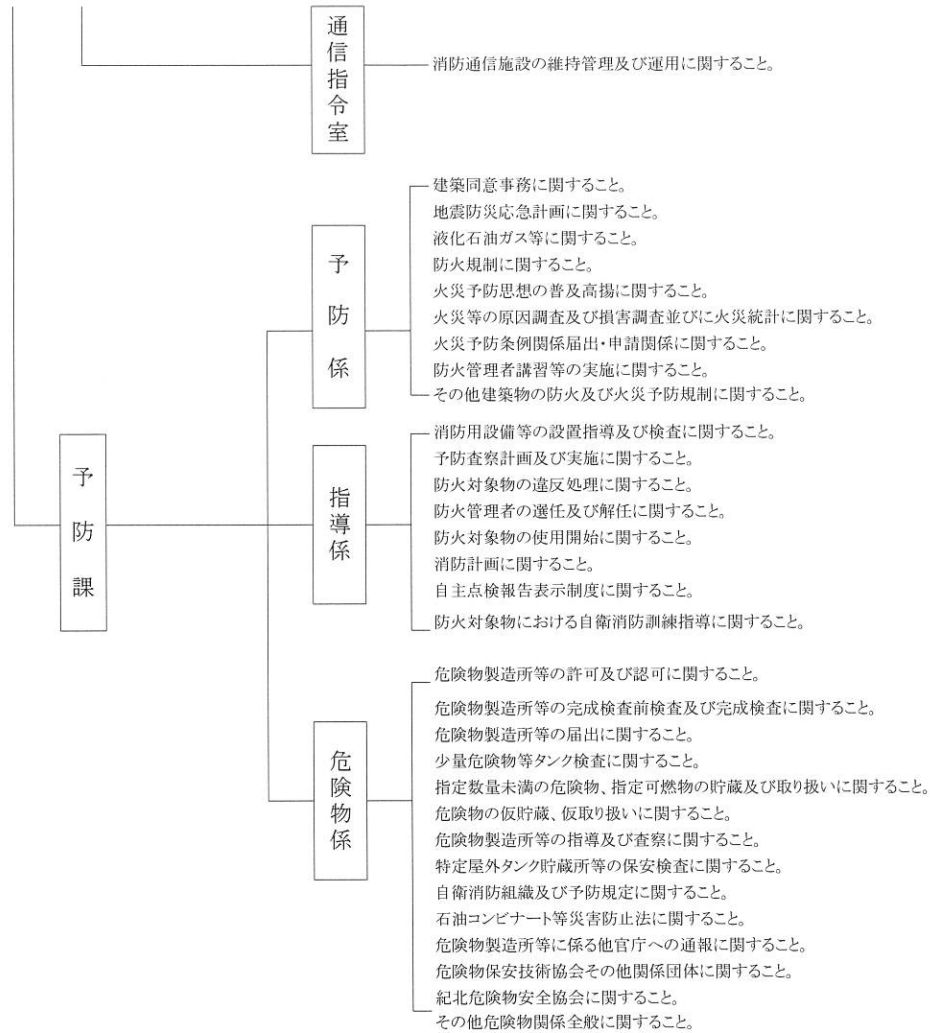
消 防 署



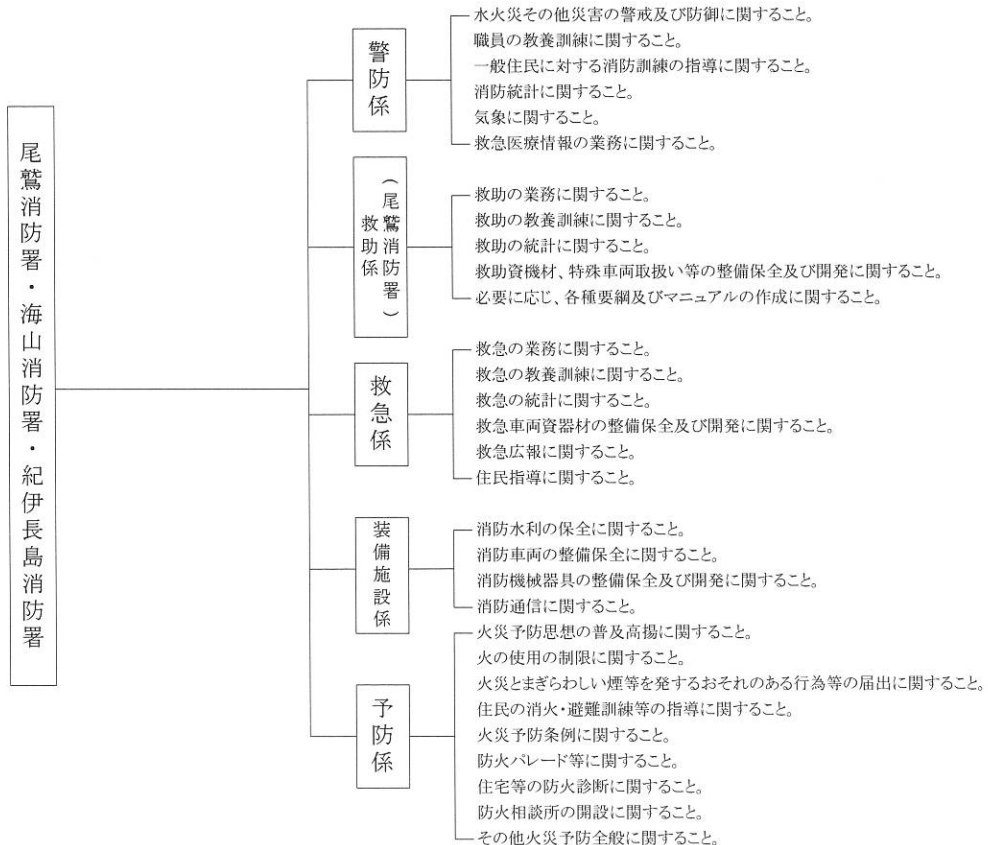
消 防 本 部 事 務 分 掌



消 防 本 部 事 務 分 掌



消 防 署 事 務 分 掌



消防庁舎の現況

平成30年4月1日現在

所在地	郵便番号 519-3639 三重県尾鷲市中川28番43号
電話番号・E-mail	消防本部 0597(22)2021・kihoku.soumu@za.ztv.ne.jp
	通信指令室 0597(23)2119・tsuushin119@zc.ztv.ne.jp
	尾鷲消防署 0597(22)2020・owase119@ztv.ne.jp
構造及び面積	鉄筋コンクリート3階建 1,429.0㎡
建設年月日	昭和50年 6月 1日

名称	海山消防署
所在地	郵便番号 519-3405 三重県北牟婁郡紀北町船津878番地1
電話番号・E-mail	0597(33)1119・miyama119@ztv.ne.jp
構造及び面積	鉄筋コンクリート造2階建(庁舎) 666.23㎡
	鉄骨造2階建(訓練塔) 38.00㎡ 計 704.23㎡
建設年月日	平成29年3月30日

名称	紀伊長島消防署
所在地	郵便番号 519-3205 三重県北牟婁郡紀北町長島2141番地
電話番号・E-mail	0597(47)0001・nagasima119@zc.ztv.ne.jp
構造及び面積	鉄筋コンクリート造平屋建 379.2㎡
建設年月日	昭和46年12月10日 336.3㎡
増設年月日	平成元年 3月25日 42.9㎡

名称	輪内出張所
所在地	郵便番号 519-3924 三重県尾鷲市曾根町840番地
電話番号・E-mail	0597(27)2340・wauti119@zc.ztv.ne.jp
構造及び面積	鉄骨造平屋建 219.4㎡
建設年月日	平成 5年 3月 2日

消 防 職 員 配 置 表

平成30年4月1日現在

階級別 所 属	計	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
定 数	120							
実 数	105 (2)	1	7	8	20	26 (2)	13	30
消 防 本 部	32 (2)	1	6	2	7	8 (2)	4	4
尾 鷲 消 防 署	35		※1 1	3	6	7	5	13
海 山 消 防 署	20		※2 1	1	4	5	3	6
紀伊長島消防署	20		1	2	3	6	1	7

()内数は市町派遣職員

※1 指揮指令担当課長が尾鷲消防署長を兼務している為、1と記載しているが計数には足さない

※2 参事が海山消防署長を兼務している為、1と記載しているが計数には足さない

市町別面積・人口情勢

平成30年4月1日現在

区分	面 積 (km ²)	人 口 (人)	男女別 (人)	世 帯 数 (世帯)	人口密度 (人/Km ²)
合計	449.24	34,188	男 15,967	17,455	76.1
市町別			女 18,221		
尾 鷲 市	192.71	18,167	男 8,433	9,483	94.3
			女 9,734		
紀 北 町	256.53	16,021	男 7,534	7,972	62.5
			女 8,487		

消防職員階級別年齢表

平成30年4月1日現在

階級 年 齢	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
合 計	1	7	8	20	26 (2)	13	30	105 (2)
平均年齢	60.0	47.9	41.6	37.5	32.7	28.2	22.2	31.9
18 歳								
19 歳							4	4
20 歳							3	3
21 歳							4	4
22 歳							7	7
23 歳							4	4
24 歳						1	4	5
25 歳						3	3	6
26 歳						2		2
27 歳						3	1	4
28 歳					5	1		6
29 歳						1		1
30 歳					3 (1)			3 (1)
31 歳						1		1
32 歳				1	5 (1)			6 (1)
33 歳				1	3			4
34 歳				3	3			6
35 歳				2	1			3
36 歳				3	3			6
37 歳			1		2			3
38 歳			1	2	1			4
39 歳				4				4
40 歳			2	1				3
41 歳			1					1
42 歳				1				1
43 歳						1		1
44 歳		1	2					3
45 歳				2				2
46 歳		2						2
47 歳								
48 歳								
49 歳		1	1					2
50 歳		3						3
51 歳								
52 歳								
53 歳								
54 歳								
55 歳								
56 歳								
57 歳								
58 歳								
59 歳								
60 歳	1							1

()内数は市町派遣職員

消防職員階級別勤続年数表

平成30年4月1日現在

階級 年数	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
合 計	1	7	8	20	26 (2)	13	30	105 (2)
0～1 年							4	4
1～2 年							5	5
2～3 年							8	8
3～4 年							7	7
4～5 年							6	6
5～6 年						6		6
6～7 年					1	5		6
7～8 年					1	1		2
8～9 年					3 (1)			3 (1)
9～10 年					5			5
10～11 年				1	3 (1)			4 (1)
11～12 年					3			3
12～13 年				2	2			4
13～14 年								
14～15 年				2	2			4
15～16 年			1	2	4			7
16～17 年				2				2
17～18 年			1	2	1			4
18～19 年			1	1	1			3
19～20 年		1		2				3
20～21 年			1	2		1		4
21～22 年			1					1
22～23 年			2	1				3
23～24 年				1				1
24～25 年				1				1
25～26 年		1		1				2
26～27 年		2						2
27～28 年		1						1
28～29 年		1						1
29～30 年								
30～31 年								
31～32 年		1	1					2
32～33 年								
33～34 年								
34～35 年								
35～36 年								
36～37 年								
37～38 年								
38～39 年								
39～40 年								
40～41 年								
41～42 年	1							1
42～43 年								

()内数は市町派遣職員

消防職員技術資格取得状況

平成30年4月1日現在

階 級 別 種 別		計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自動車運転免許	大 型 1 種	65	1	7	6	18	22	11	
	中 型 1 種	16			1		4	2	9
	中型限 1 種	3			1	2			
	準 中 1 種								
	準中限 1 種	20							20
	普 通 1 種	1							1
	普 通 2 種	14		3	3	7	1		
自 動 二 輪 車 免 許		31	1	4	3	8	8	4	3
移 動 式 ク レ ー ン		88		4	5	18	26	13	22
玉 掛 技 能 取 得 者		96		7	8	20	26	13	22
自 動 車 整 備 士 3 級		1		1					
無線技士	第1級陸上特殊無線技士	1		1					
	第2級陸上特殊無線技士	86		6	8	20	26	13	13
	第3級陸上特殊無線技士	13							13
	第2級航空特殊無線技士	1				1			
小 型 船 舶 操 縦 士 2 級		12		4	1	3	2	1	1
消 防 設 備 士		3				3			
救 急 救 命 士		28	1	4	4	6	7	1	5
応 急 手 当 指 導 員		88	1	7	8	20	26	13	13
救 急 II 課 程 修 了 者		15	1	6	4	4			
救急標準課程修・救急課程了者		86		1	4	16	26	13	26
危 険 物 取 扱 者	甲	1				1			
	乙	91	1	4	5	16	26	13	26
	丙	2		1		1			
電 気 ・ ガ ス ・ 溶 接 者		59		6	8	20	22	1	2
潜 水 士 免 許 証		23		2	1	7	7	4	2
足 場 組 立 作 業 主 任		3		2	1				
衛 生 管 理 者		3			1	2			
アマチュア無線技士		2				2			
電 子 工 業 技 士 2 級		1		1					
銃 砲 免 許 証		1		1					
予 防 技 術 者		5				5			

消防車両等の配置状況

平成30年4月1日現在

区分 所属	種 別	登録 年月	車輦名	排気量	ポンプ 級 別	無線名称	登録番号	備 考
本 部	指 揮 支 援 車	H26年 12月	ト ヨ タ	2,700		キ ホ ク シ キ 1	三重800せ 39	普通ワゴン車
	本 部 指 揮 車	H22年 3月	ト ヨ タ	2,700		キ ホ ク シ キ 2	三重800す6607	普通車(4駆)
	本 部 広 報 車	H27年 3月	ト ヨ タ	1,500		キホクコウホウ1	三重800せ 227	普通車
	広 報 車	H28年 10月	ダイハツ	650		キホクコウホウ2	三重480と1259	軽ワゴン車
	公 用 車	H28年 7月	ト ヨ タ	1,800			三重301ま9648	普通車
尾 鷲 消 防 署	普通ポンプ自動車	H22年 3月	日 野	4,000	A-2	オワセポンプ1	三重800す6615	CD-1型
	普通ポンプ自動車	H25年 3月	日 野	4,000	A-2	オワセポンプ2	三重800す8793	CD-1型CAFS
	水槽付ポンプ自動車	H18年 2月	日 野	6,400	A-2	オワセタンク1	三重800は1008	水Ⅱ型
	救 助 工 作 車	H26年 12月	日 野	6,400		キホクキュウジョ1	三重800は1941	Ⅱ型
	化 学 車	H27年 12月	日 野	6,400	A-2	キホクカガク1	三重800は2022	化学車CAFS
	大 型 化 学 車	H14年 3月	いすゞ	15,200	A-1	オ ワ セ 7	三重830ね 119	化学車
	大型高所放水車	H24年 1月	日 野	8,860	A-1	オワセハシゴ52	三重800は1671	梯子車
	泡原液搬送車	H15年 3月	日 野	7,960		オワセゲンエキ53	三重830ほ 119	化学車
	救 急 車	H24年 3月	ト ヨ タ	2,690		オワセキュウキュウ2	三重800す8027	高規格車
	救 急 車	H17年 3月	ト ヨ タ	3,370		オワセキュウキュウ1	三重800す 910	高規格車
	救 急 車	H14年 3月	ト ヨ タ	3,370			三重800さ6262	高規格車
	指 令 車	H16年 3月	ト ヨ タ	2,980		オワセシレイ1	三重800さ9376	普通ワゴン車
	指 令 車	H15年 10月	日 産	2,380			三重800さ8789	普通ワゴン車
	資 機 材 搬 送 車	H16年 1月	マツダ	4,570		オワセハンソウ1	三重800さ9081	普通貨物車
	資 機 材 搬 送 車	H22年 3月	ダイハツ	650		オワセハンソウ2	三重880あ 928	軽貨物車
輪 内 出 張 所	普通ポンプ自動車	H28年 12月	日 野	4,000	A-2	ワウチポンプ1	三重800せ1450	CD-1型CAFS
	救 急 車	H26年 12月	ト ヨ タ	2,690		ワウチキュウキュウ1	三重800せ 21	高規格車
	資 機 材 搬 送 車	H18年 12月	ダイハツ	650		ワウチハンソウ1	三重880あ 381	軽貨物車
海 山 消 防 署	普通ポンプ自動車	H18年 12月	日 野	4,000	A-2	ミヤマポンプ1	三重800す3444	CD-1型
	水槽付ポンプ自動車	H16年 12月	日 野	6,400	A-2	ミヤマタンク1	三重800す 437	水Ⅰ型
	救 急 車	H15年 12月	ト ヨ タ	3,370		ミヤマキュウキュウ1	三重800さ8984	高規格車
	救 急 車	H21年 3月	ト ヨ タ	2,690		ミヤマキュウキュウ2	三重800す5704	高規格車
	指 令 車	H24年 3月	ト ヨ タ	2,690		ミヤマシレイ1	三重800す8036	普通ワゴン車
	資 機 材 搬 送 車	H24年 9月	日 産	2,950		ミヤマハンソウ1	三重800す8405	普通貨物車
紀 伊 長 島 消 防 署	普通ポンプ自動車	H18年 2月	日 野	4,000	A-2	ナガシマポンプ1	三重800す2206	CD-1型
	水槽付ポンプ自動車	H25年 12月	日 野	6,400	A-2	ナガシマタンク1	三重832ふ 119	水Ⅱ型
	救 急 車	H22年 3月	ト ヨ タ	2,690		ナガシマキュウキュウ1	三重800す6628	高規格車
	救 急 車	H27年 12月	ト ヨ タ	2,690		ナガシマキュウキュウ2	三重800せ 754	高規格車
	指 令 車	H29年 12月	ト ヨ タ	2,700		ナガシマシレイ1	三重800さ8984	普通ワゴン車
	資 機 材 搬 送 車	H13年 7月	マツダ	1,780		ナガシマハンソウ1	三重800さ5105	普通貨物車

消 防 資 機 材 一 覧

平成30年4月1日現在

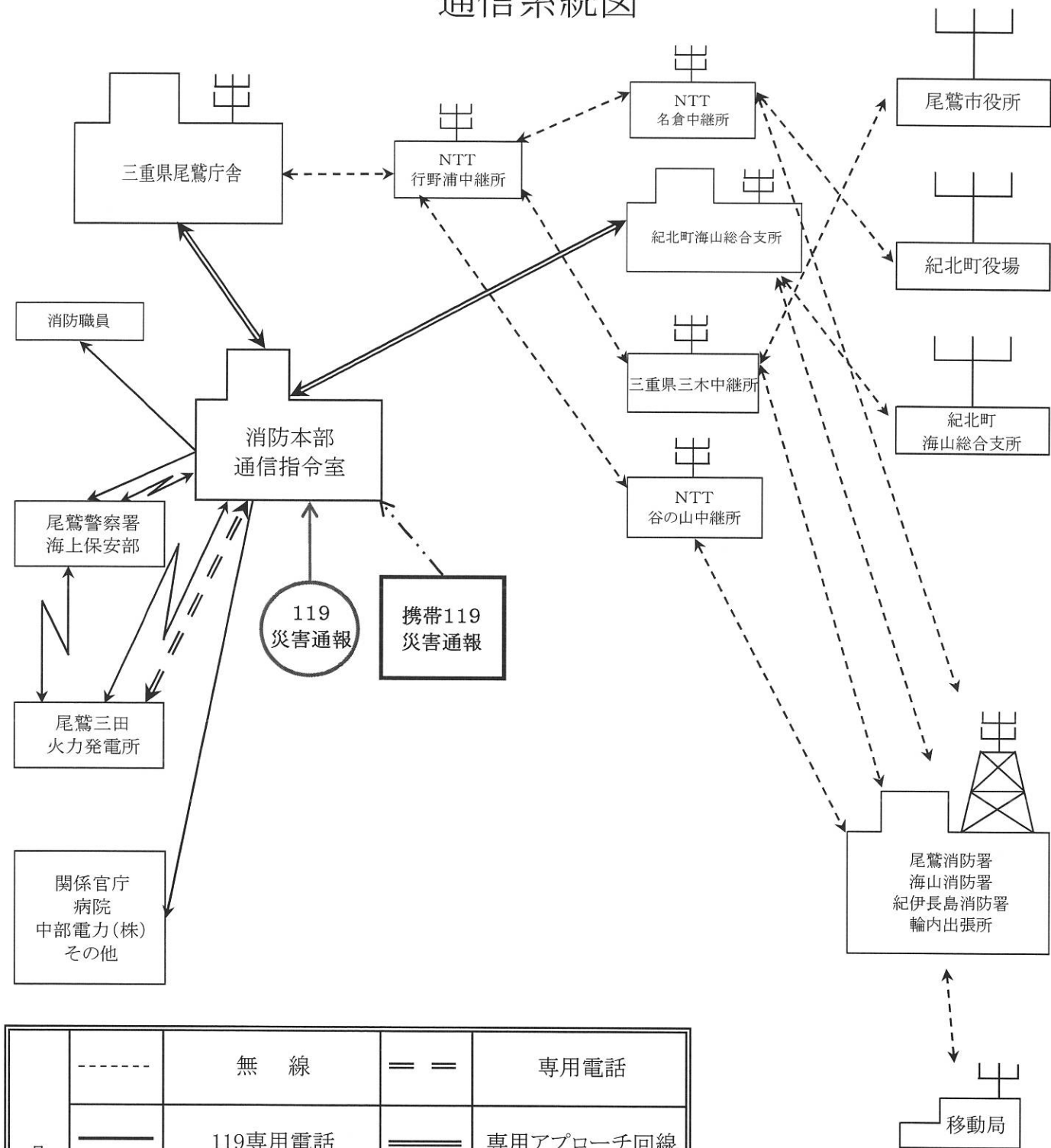
種 類 \ 署 別		計	消防本部	尾鷲 消防署	海山 消防署	紀伊長島 消防署
救 助 用 器 材	エ ア ー テ ン ト	1	1			
	空 気 呼 吸 器	55	5	32	8	10
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	10		4	2	4
	チ ル ホ ー ル	9		5	3	1
	ス プ レ ッ タ ー	5		2	1	2
	ル ー カ ス カ ッ タ ー	5		2	1	2
	ペ ダ ル カ ッ タ ー	4		2	1	1
	エアーソー(エアーツール)	2		2		
	エ ア ー バ ッ グ (式)	4		2	1	1
	救 命 マ ッ ト (膜)	1		1		
	救 命 索 発 射 銃	3	2	1		
	アクアラング(潜水器具)	12		6	3	3
	船 外 機	6	3		2	1
	救 命 ボ ー ト	4		2	1	1
	救 命 胴 衣	97	4	42	38	13
	高 圧 コ ン プ レ ッ サ ー	1	1			
	レ ス キ ュ ー フ レ ー ム	1		1		
警 防・ 予 防 用 器 材	可 搬 式 消 防 ポ ン プ	8		3	3	2
	ウ ォ ー タ ー ル ー ト	5		2	1	2
	移 動 式 大 型 照 明 設 備	3		1	1	1
	投 光 器	40	2	19	9	10
	発 動 発 電 機	25	6	8	7	4
	チ ェ ン ソ ー	9		4	3	2
	万 能 斧	24		12	5	7
	鋸	107		31	21	55
	鉋	91		39	24	28
	超 音 波 板 厚 計	1	1			
	可 燃 ガ ス 検 知 機	3		1	1	1
	接 地 抵 抗 測 定 器	1	1			
	衛 星 携 帯 電 話	3		1	1	1
救 急 用 器 材	レ サ シ ア ン	21	2	6	6	7
	マ ジ ッ ク ギ ブ ス	10		6	2	2
	C P R ボ ー ド	1		1		
	自 動 酸 素 蘇 生 器	8		4	2	2
	滅 菌 器	3		1	1	1
	パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	11		5	3	3
	吸 引 器	9		5	2	2
	血 圧 計	16		5	5	6
	外 傷 模 型 セ ッ ト	1	1			
	気 道 管 理 ト レ ー ナ ー 一 式	2	1			1
	高 度 シ ミ ュ レ ー タ ー 人 形	3		1	1	1
	ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	14		8	3	3

特殊資機材一覧

平成30年4月1日

用途	資機材	数量
交通救助用器具	ラムシリンダー	2
	電動油圧コンビツール	1
	電動油圧ドアオープナー	1
特殊災害対応器具	レベルA対応 防護服	3
	レベルA対応 トレーニングスーツ	3
	レベルB対応 防護服	10
	除染テント一式	1
	耐電衣	2
	オゾン水除染システム一式	1
固定用器具	パワーショア 一式	1
	オートクリブ	8
	サポートセット	1
	ステップチョーク	2
	救助ブロック 一式	1
送排風用器具	加圧排煙機	1
	送排風機 一式	1
水難救助用器具	PFD	11
	スローバッグ	3
山岳救助等器具	スタティックロープ資機材 一式	1
	アリゾナポーテックス	1
	タイタンバスケットストレッチャー(分割式)	1
	パーティカルストレッチャー	1
	スケッドストレッチャー	1
	ハーフスケッドストレッチャー	1
破壊用器具	携帯用コンクリート破壊器具	1
	削岩機	1
	ハンマドリル	1
高度救助用器具	画像探査機Ⅱ型	1
	熱画像直視装置	2
計測器具	金属探知機	1
	電流検知器	1
	張力計	1

通信系統図

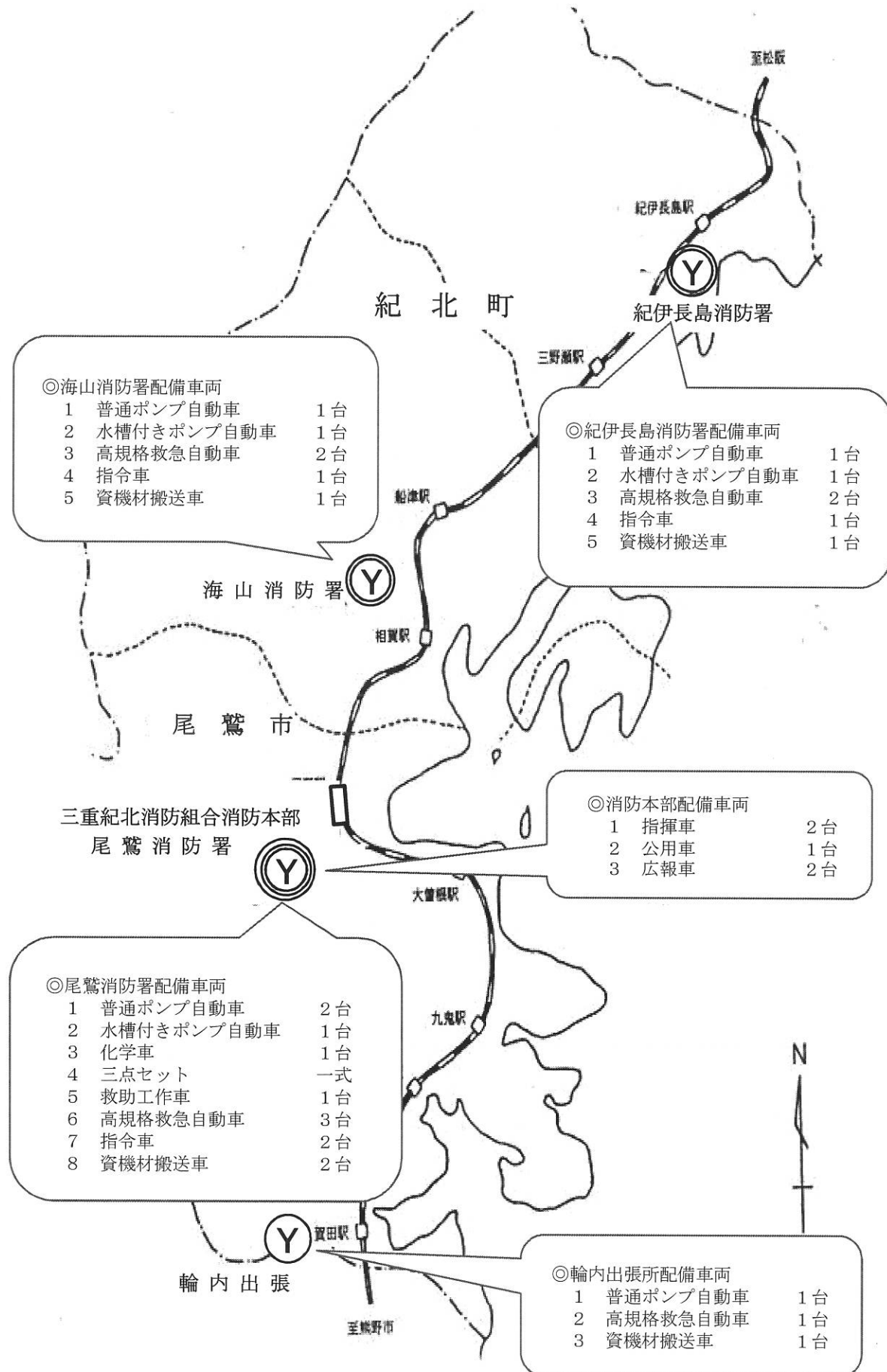


施 設 状 況

平成30年4月1日現在

署 別 種 別		合 計	消 防 本 部	尾 鷲 消 防 署	輪 内 出 張 所	海 山 消 防 署	紀 伊 長 島 消 防 署
デジタル無線	基地局等	5					
	車 載	32	4	13	3	6	6
	携 帯	32	3	14	3	6	6
計		69	7	27	6	12	12
119 番 専 用 回 線		1	1				
携 帯 119 番 専 用 回 線		4	4				
IP 電 話 回 線		4	4				
一 搬 電 話 回 線		14	8	3	1	1	1
フ ァ ッ ク ス 専 用 回 線		4	2			1	1
計		27	19	3	1	2	2
気象観測施設	温 度 計						
	湿 度 計						
	風 速 計						
	風 向 計						
	雨 量 計						
	気 圧 計						
	緊急地震速報端末機器						
計							

三重紀北消防組合消防本部・署・出張所配置図

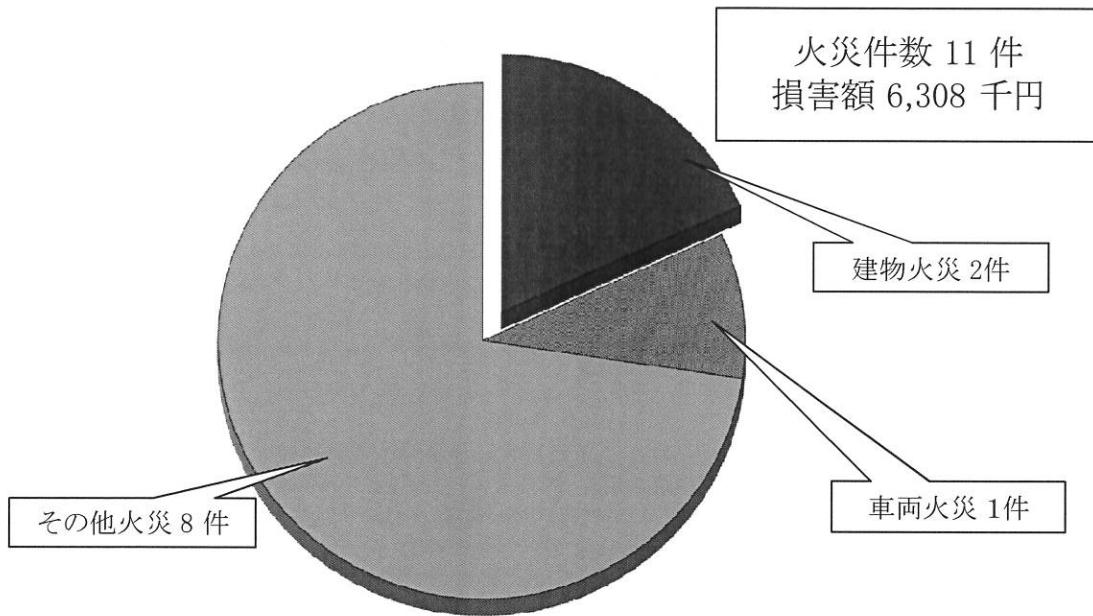


火 災 統 計

◎ 火災種別概要、市町別火災概要・・・・・・・・・・・・・・・・	28
◎ 月別火災概要、曜日別火災概要、時間別火災概要・・・・・・・・	29
◎ 用途別火災原因状況・・・・・・・・・・・・・・・・	30
◎ 市町別火災件数の前年対比、市町別損害額の前年対比、過去5年間の火災状況・・	31
◎ 時間別火災発生件数、天候別火災発生件数、火災予防週間中の火災発生件数・・	32



火災種別概要



管内別火災概要

平成29年中

種別	管内別	尾鷲管内	紀 北 町		計
			海 山 管 内	紀伊長島管内	
建 物		0	1	1	2
林 野		0	0	0	0
車 両		0	1	0	1
船 舶		0	0	0	0
航 空 機		0	0	0	0
そ の 他		3	1	4	8
合 計		3	3	5	11
建物焼損面積(m ²)		0	86	143	229
林野焼損面積(a)		0	0	0	0
死 傷 者	死 者	0	0	1	1
	負 傷 者	0	0	0	0
損 害 額 (千 円)		3	2,170	4,135	6,308

月別火災概要

区分 月別	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	車 両火災	船舶 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死者	負傷者
合計	11	2	1		8	229		3		1	1	5	2	6,308	1	
1	1				1											
2	4	1	1		2	86		1				1	1	2,170		
3	4	1			3	143		2		1	1	4	1	4,135	1	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12	2				2									3		

曜日別火災概要

区分 曜日	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	車 両火災	船舶 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死者	負傷者
合計	11	2	1		8	229		3		1	1	5	2	6308	1	
日	1				1											
月	1				1											
火	3		1		2									53		
水																
木	1	1				86		1				1	1	2,120		
金	4	1			3	143		2		1	1	4	1	4,135	1	
土	1				1											

時間別火災概要

区分 時間	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	車 両火災	船舶 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死者	負傷者
合計	11	2	1		8	229		3		1	1	5	2	6308	1	
0～2																
2～4																
4～6	1	1				86		1				1	1	2,120		
6～8																
8～10																
10～12	1				1											
12～14	3		1		2									53		
14～16	2				2											
16～18	3	1			2	143		2		1	1	4	1	4,135	1	
18～20																
20～22																
22～24	1				1											

用途別火災原因状況

原因別 用地別		合 計	焚 き 火	コ ン ロ	電 気 関 係	放 火・放 火の疑 い	風 呂・ 釜	タ バ コ	マ ッ チ・ ライタ ー	煙 突・ 煙道	不 明	そ の 他
火 災 種 別	建 物	2		1							1	
	住 宅	2		1							1	
	共同住宅											
	劇 場											
	百貨店											
	旅 館											
	病 院											
	福祉施設											
	学 校											
	文化財											
	そ の 他											
	林 野											
	車 両	1									1	
	船 舶											
	航空機											
	そ の 他	8							4		1	3
合 計		11		1					4		3	3
損害額(千円)		6,308		2,120							4,185	3

管内別火災件数の前年対比

管内別 \ 区分		29年	28年	増減(△)
総 計		11	16	△5
尾 鷲 管 内		3	6	△3
紀 北 町	計	8	10	△2
	海 山 管 内	3	4	△1
	紀伊長島管内	5	6	△1

※ △はマイナス

管内別損害額の前年対比

管内別 \ 区分		29年	28年	増減(△)
総 計		6,308	2,625	3,683
尾 鷲 管 内		3	557	△554
紀 北 町	計	6,305	2,068	4,237
	海 山 管 内	2170	0	2,170
	紀伊長島管内	4,135	2,068	2,067

※ △はマイナス

過去5年間の火災状況

種別 \ 年	29年	28年	27年	26年	25年
計	11	16	13	13	19
建 物	2	8	5	6	6
林 野	0	0	0	0	1
車 輦	1	1	0	1	0
航 空 機	0	0	1	0	0
船 舶	0	0	1	0	1
そ の 他	8	7	6	6	11

時間別火災発生件数

平成29年中

管内別	時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	不明	計
総計				1		2	1	2		1	1					1						1				1	11
尾鷲管内						1										1										1	3
計			1			1	1	2		1	1											1					8
紀北町						1	1															1					3
紀伊長島管内			1					2		1	1																5

天候別火災発生件数

平成29年中

管内別	天候	快晴	晴	うす曇	曇	雨	雷雨	雪	不明	計
総計				9		1	1			11
尾鷲管内				3						3
計				6		1	1			8
紀北町				2			1			3
紀伊長島管内				4		1				5

火災予防週間中の火災発生件数

平成29年中

管内別	期別	尾鷲管内	紀北町	海山管内	紀伊長島管内
春季					
秋季					
合計					

救 急 統 計

- ◎ 医療機関状況、月別出場件数、曜日別出場件数・・・・・・・・・・ 33
- ◎ 事故種別出場件数、署別出場件数・・・・・・・・・・ 34
- ◎ 月別救急搬送状況・・・・・・・・・・ 35
- ◎ 傷病程度別搬送人員、救急隊員の行った応急処置件数・・・・・・・・ 36
- 過去5年間の出場状況、過去5年間の搬送人員状況・・・・・・・・ 36
- ◎ 過去10年間の救急出場件数・搬送人員の推移・・・・・・・・ 37



医療機関状況

平成30年4月1日現在

平成30年1月1日現在

救急告示機関				その他の医療機関			合計
公的	私的		計	私的		計	
	病院	診療所		病院	診療所		
1	1	0	2	0	32	32	34

月別出場件数

平成29年中

月別 署別		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
尾鷲消防署	署	959	82	90	72	70	66	73	93	82	76	67	89	99
	出張所	161	13	10	10	13	12	8	18	24	8	14	12	19
	計	1,120	95	100	82	83	78	81	111	106	84	81	101	118
海山消防署		490	37	38	34	59	25	44	38	38	34	47	47	49
紀伊長島消防署		472	43	33	49	37	25	26	57	30	40	40	48	44
合計		2,082	175	171	165	179	128	151	206	174	158	168	196	211

曜日別出場件数

平成29年中

月別 署別		計	日	月	火	水	木	金	土
尾鷲消防署	署	959	126	142	145	130	157	140	119
	出張所	161	27	26	14	19	22	34	19
	計	1,120	153	168	159	149	179	174	138
海山消防署		490	64	81	68	57	75	84	61
紀伊長島消防署		472	89	72	65	59	61	66	60
合計		2,082	306	321	292	265	315	324	259

事故種別出場件数

平成29年中

種別 月別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
計	2,082 (69)	2		15	113 (12)	18 (4)	3	329 (8)	3	15	1,286 (28)	292 (17)	6
1	175 (5)			1	11	2		28 (1)		2	110 (3)	21 (1)	
2	171 (5)	1			10 (1)			32 (1)	1	1	105 (2)	21 (1)	
3	165 (8)	1		1	5	2 (1)	1	36 (2)			97 (3)	20 (2)	2
4	179 (7)				16 (2)	2 (1)		27		1	100 (1)	33 (3)	
5	128			2	6	2		22		2	75	19	
6	151 (5)				11	1		16 (1)		2	103 (2)	18 (2)	
7	206 (5)			1	10 (2)			28		1	133 (3)	32	1
8	174 (4)			5	6 (1)	2 (1)		24	2	1	109	24 (2)	1
9	158 (6)			4	2 (1)		1	23 (1)		1	100 (1)	27 (3)	
10	168 (7)			1	7	2		27 (1)		1	101 (6)	28	1
11	196 (7)				8	3	1	29		3	122 (5)	30 (2)	
12	211 (10)				21 (5)	2 (1)		37 (1)			131 (2)	19 (1)	1

※ ()内数は、ドクターヘリ出場件数

署別出場件数

平成29年中

種別 署別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
計	2,082 (69)	2		15	113 (12)	18 (4)	3	329 (3)	3 (5)	15	1,286 (28)	292 (17)	6
尾鷲消防署	959 (37)			6	51 (4)	3 (1)		147	2 (5)	9	533 (10)	206 (17)	2
輪内出張所	161 (1)				6	3		37			115 (1)		
海山消防署	490 (13)	1		5	30 (4)	5 (1)		73 (3)		2	335 (5)	36	3
紀伊長島消防署	472 (18)	1		4	26 (4)	7 (2)	3	72	1	4	303 (12)	50	1

※ ()内数は、ドクターヘリ出場件数

月別救急搬送状況

平成29年中

事故種別 月区分		計	救 急 事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他
1 月	出 場 件 数	175			1	11	2		28		2	110	21			
	不 搬 送 件 数	6				1						5				
	搬 送 人 員	169			1	10	2		28		2	105	21			
2 月	出 場 件 数	171	1			10			32	1	1	105	21			
	不 搬 送 件 数	5				1			2			2				
	搬 送 人 員	165				9			30	1	1	103	21			
3 月	出 場 件 数	165	1		1	5	2	1	36			97	20	1		1
	不 搬 送 件 数	5	1			1						3				
	搬 送 人 員	160			1	4	2	1	36			94	20	1		1
4 月	出 場 件 数	179				16	2		27		1	100	33			
	不 搬 送 件 数	7							1			6				
	搬 送 人 員	171				16	2		26			94	33			
5 月	出 場 件 数	128			2	6	2		22		2	75	19			
	不 搬 送 件 数	7			1							6				
	搬 送 人 員	121			1	6	2		22		2	69	19			
6 月	出 場 件 数	151				11	1		16		2	103	18			
	不 搬 送 件 数	8				2					1	5				
	搬 送 人 員	143				9	1		16		1	98	18			
7 月	出 場 件 数	206			1	10			28		1	133	32			1
	不 搬 送 件 数	5										5				
	搬 送 人 員	200				10			28		1	128	32			1
8 月	出 場 件 数	174			5	6	2		24	2	1	109	24			1
	不 搬 送 件 数	7				1						6				
	搬 送 人 員	166			5	5	2		24	2		103	24			1
9 月	出 場 件 数	158			4	2		1	23		1	100	27			
	不 搬 送 件 数	11			3				1			7				
	搬 送 人 員	147			1	2		1	22		1	93	27			
10 月	出 場 件 数	168			1	7	2		27		1	101	28			1
	不 搬 送 件 数	7									1	6				
	搬 送 人 員	160				7	2		27			95	28			1
11 月	出 場 件 数	196				8	3	1	29		3	122	30			
	不 搬 送 件 数	9							1		1	7				
	搬 送 人 員	187				8	3	1	28		2	115	30			
12 月	出 場 件 数	211				21	2		37			131	19			1
	不 搬 送 件 数	13				2			1			10				
	搬 送 人 員	198				19	2		36			121	19			1
合 計	出 場 件 数	2,082	2		15	113	18	3	329	3	15	1,286	292	1		5
	不 搬 送 件 数	108	2		6	13			7		5	69		1		5
	搬 送 人 員	1,981			9	105	18	3	323	3	10	1,218	292			
前 年 合 計	出 場 件 数	1,944	3		11	140	28	7	328	6	12	1,188	216			5
	不 搬 送 件 数	95	2		3	15	1		6	1	3	58	2			4
	搬 送 人 員	1,877	1		8	151	27	7	323	5	9	1,131	214			1

傷病程度別搬送人員

平成29年中

事故種別 傷病程度	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
合 計	1,981			9	105	18	3	323	3	10	1,218	292
死 亡	39			3	1	1		2	1	2	29	
重 症	357			1	5	3		16		2	127	203
中 等 症	775			1	21	6		162	2	2	505	76
軽 症	802			4	75	8	3	141		4	554	13
そ の 他	8				3			2			3	

救急隊員の行った応急処置件数

平成29年中

傷病程度 応急処置	対 象 急 人 処 置 員 置	合 計	止 血	固 定	人工 呼吸	心 臓 マ ジツ	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	そ の 他
合 計	1,965	11,049	70	133	5		35	491	60	1,799	76	8,380
急 病	1,213	6,928	9	9	1		27	335	51	1,128	2	5,366
交 通	104	637	15	62				20		82	13	445
一 般 負 傷	322	1,766	36	51	1		2	31	3	276	48	1,318
そ の 他	326	1,718	10	11	3		6	105	6	313	13	1,251

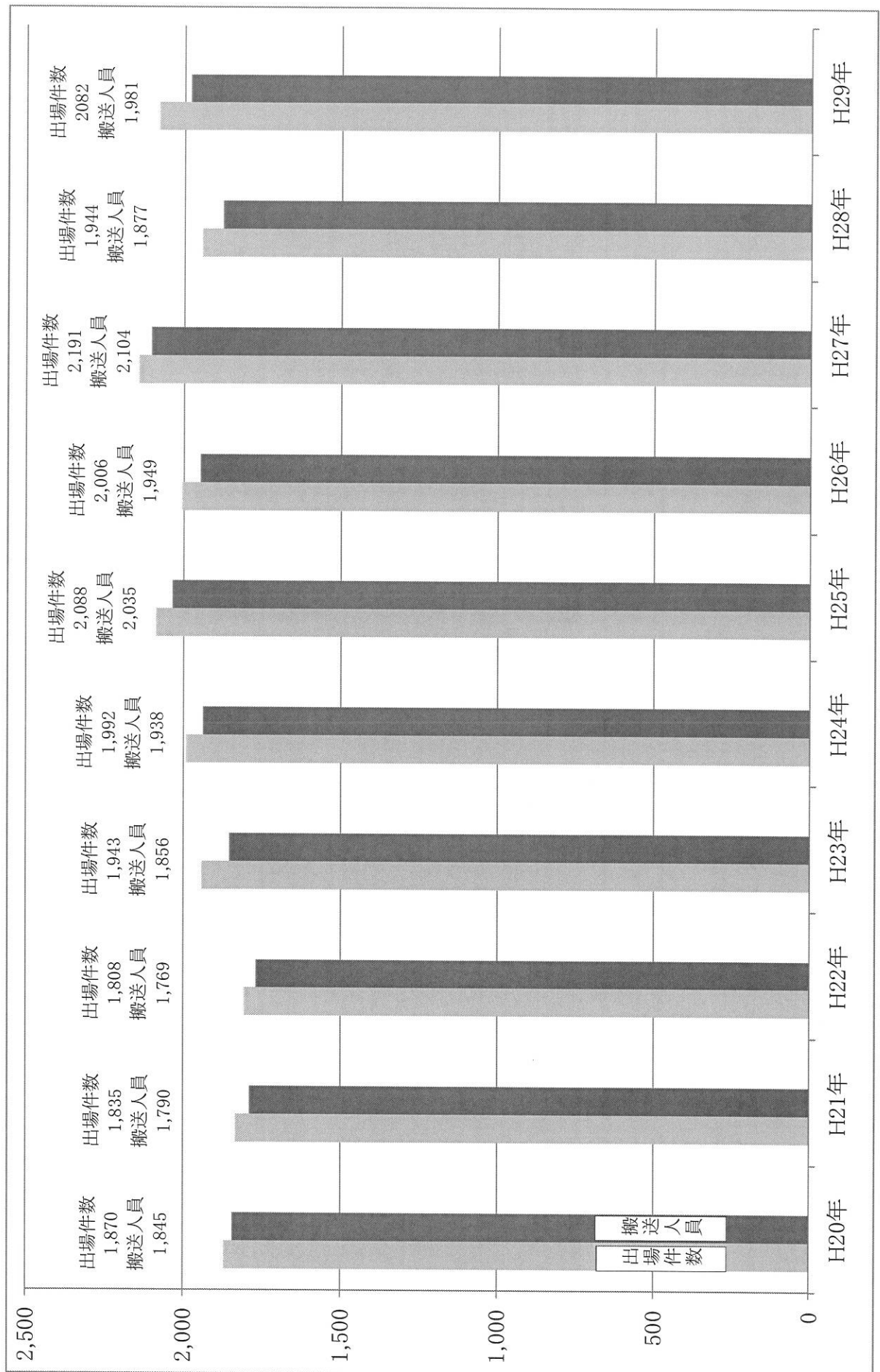
過去5年間の出場状況

種 別 年 別	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
平 成 29 年	2,082	2		15	113	18	3	329	3	15	1,286	298
平 成 28 年	1,944	3		11	140	28	7	328	6	12	1,188	221
平 成 27 年	2,191	2		4	158	17	14	313	7	13	1,405	258
平 成 26 年	2,006			6	107	21	6	301	6	15	1,328	216
平 成 25 年	2,088	2		6	160	29	7	299	6	12	1,352	215

過去5年間の搬送人員状況

種 別 年 別	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
平 成 29 年	1,981			9	105	18	3	323	3	10	1,218	292
平 成 28 年	1,877	1		8	151	27	7	323	5	9	1,131	215
平 成 27 年	2,104	1		5	162	17	15	302	7	11	1,338	246
平 成 26 年	1,949			5	118	21	6	296	6	8	1,280	209
平 成 25 年	2,035	3		5	174	29	7	293	6	10	1,309	199

過去10年間の救急出場件数・搬送人員の推移



予 防 統 計

◎ 市町別危険物施設状況・・・・・・・・・・・・・・・・	38
◎ 危険物製造所等数量・類別表・・・・・・・・・・	39
◎ 市町別防火対象物一覧表・・・・・・・・・・・・・	40
◎ 月別用途別建築同意状況・・・・・・・・・・・・・	41
◎ 尾鷲石油コンビナート区域現況、屋外貯蔵タンクの容量別基数・・・・	42
◎ 自衛防災組織・消防機関等の防災資機材・・・・・・・・・・・・・	43



管内別危険物施設状況

平成30年4月1日現在

管 内 別 施 設 別		合 計	尾 鷲 管 内	紀 北 町		
				海山管内	紀伊長島管内	
計		244	125	58	61	
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		26	17	4	5
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		54	25	12	17
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		8	3	3	2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		27	16	6	5
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		46	24	13	9
	屋 外 貯 蔵 所		9	7		2
取 扱 所	給 油 取 扱 所		46	22	12	12
	移 送 取 扱 所		1	1		
	一 般 取 扱 所		26	9	8	9
	販売取扱所	第 1 種	1	1		
		第 2 種				
事 業 所 の 件 数		82	39	21	22	
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 所		250	147	49	54	

危険物製造所等数量・類別表

平成30年4月1日現在

製造所等の別 区 分			合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
					屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所	
															第 一 種	第 二 種
危 険 物 施 設 総 数			244		26	54	8	27		46	9	46	1	26	1	
数 量 別		5 倍 以 下	108		16	5	8	17		38	4	6		13	1	
		5 倍を超え10 倍以下	34		9	9		5		1	3	2		5		
		10 倍 " 50 倍 "	55		1	24		5		4	1	13		7		
		50 倍 " 100 倍 "	16			5				3	1	7				
		100 倍 " 150 倍 "	8			2						6				
		150 倍 " 200 倍 "	6			1						5				
		200 倍 " 1000 倍 "	7									7				
		1000 倍 " 5000 倍 "	3			3										
		5000 倍 " 10000 倍 "														
		10000 倍を超えるもの	7			5							1	1		
類 別	単	第 1 類														
		第 2 類														
		第 3 類														
	独	第 4 類	244		26	54	8	27		46	9	46	1	26	1	
		第 5 類														
		第 6 類														
混 在																

管内別防火対象物一覧表

平成30年4月1日現在

防火対象物区分			管内別	合 計	尾 鷲 管 内	紀北町	
						海山管内	紀伊長島管内
合 計				1,456	911	271	274
1	イ	劇 場 等		3	2	1	
	ロ	公 会 堂 等		75	22	20	33
2	イ	キ ャ バ レ ー 等		4		2	2
	ロ	遊 技 場 等		6	3		3
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等					
	ニ	カラオケボックス等		2	1	1	
3	イ	料 理 店 等		3		3	
	ロ	飲 食 店 等		27	14	7	6
4		百 貨 店 等		63	39	5	19
5	イ	旅 館 等		62	31	11	20
	ロ	寄 宿 舎 等		133	93	19	21
6	イ	病 院 等		18	11	6	1
	ロ	老 人 グ ル ー プ ホ ー ム 等		33	15	8	10
	ハ	老人ディサービス・老人ホーム等		41	21	10	10
	ニ	幼 稚 園 等		6	4	1	1
7		学 校 等		44	27	7	10
8		図 書 館 等		3	1	2	
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場					
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場		4	3		1
10		停 車 場 等		3	1	1	1
11		神 社 等		34	8	14	12
12	イ	工 場 等		231	115	70	46
13		駐 車 場 等		24	22		2
14		倉 庫 等		159	103	25	31
15		事 業 場 等		199	140	30	29
16	イ	特 定 複 合 防 火 対 象 物		173	136	24	13
	ロ	そ の 他 の 複 合 防 火 対 象 物		106	99	4	3
17		文 化 財 等					

月別用途別建築同意状況

平成29年度中

月別 区分	合 計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
合 計	21	1	4		1	6		1	3	1	2	2	
住 宅													
併 用 住 宅													
共 同 住 宅													
旅 館													
工 場 ・ 作 業 場													
事 務 所	1		1										
病 院 等													
神 社 ・ 寺 院 等	1					1							
学 校													
倉 庫	5		1		1	3							
店 舗													
飲 食 店													
遊 技 場	1					1							
用 途 変 更													
老 人 ホ ー ム	5		1			1		1	1	1			
保 育 園	2		1								1		
集 会 場	2	1							1				
公 衆 浴 場	1										1		
教 会													
薬 局													
そ の 他	3								1			2	

尾鷲石油コンビナート区域現況

地区番号・地区名 37 尾鷲
 地区面積 558,827m²
 所在地 尾鷲市
 共同防災組織 なし
 管轄消防機関 三重紀北消防組合

(平成30年4月1日)

特定事業所名	中部電力(株) 尾鷲三田火力発電所(第一種事業所)					
	第一、第二ヤード		発電所		合計	
	貯蔵量	取扱量	貯蔵量	取扱量	貯蔵量	取扱量
石油(Kℓ)	208,580	79,280	18,030	9,168	226,610	88,448
第4類以外の危険物						
高圧ガス						
劇物(t)			石災法31	毒劇法242	石災法31	毒劇法242

屋外貯蔵タンクの容量別基数

(平成30年4月1日)

	合計	中部電力(株)尾鷲三田火力発電所(第一種事業所)	
		第一、第二ヤード	発電所
合計	11 基	7 基	4 基
1,000Kℓ未満	3 基	2 基	1 基
1,00Kℓ以上1万Kℓ未満	5 基	2 基	3 基
1万Kℓ以上5万Kℓ未満	基	基	基
5Kℓ以上10万Kℓ未満	3 基	3 基	基

自衛防災組織・消防機関等の防災資機材

平成30年4月1日現在

事業所名 資機材等		尾鷲三田火力発電所	三重紀北消防組合
大型化学消防車			1
大型高所放水車			1
大型化学高所放水車		1	
泡原液搬送車		1	1
甲種普通化学消防車			
乙種普通化学消防車			1
普通消防自動車			5
水槽付消防車			3
はしご付消防車			
大型泡放水砲		1	
可搬式放水銃			
耐熱服		1	3
空気または酸素呼吸器		9	55
泡消火薬剤(ℓ)		12,600	27,800
オイルフェンス(m)		2,180	300
オイルフェンス展張船		1	
油回収船			
消防艇			
粉末消火薬剤	ABC	9,165	
	BC	16	
吸着マット(枚)		53,260	3,050
油処理剤(ℓ)		6,300	72
防災要員(人)		6	101

幼年消防クラブ

◎ 幼年消防クラブ員数・幼年消防クラブ結成状況・・・・・・・・・・ 44



幼年消防クラブ員数・幼年消防クラブ結成状況

平成30年4月1日現在

管内別		名称	ク ラ ブ 名 称	クラブ員数	結成年月日
尾鷲管内			尾鷲第一保育園幼年消防クラブ	98	昭和61年11月1日
尾鷲管内			尾鷲第二保育園幼年消防クラブ	44	昭和61年11月1日
尾鷲管内			尾鷲第三保育園幼年消防クラブ	42	昭和61年11月1日
尾鷲管内			尾鷲第四保育園幼年消防クラブ	71	昭和61年11月1日
尾鷲管内			矢の浜保育園幼年消防クラブ	46	昭和61年11月1日
尾鷲管内			輪内保育園幼年消防クラブ	12	昭和61年11月1日
紀 北 町	海山管内		相賀幼児園幼年消防クラブ	82	昭和61年12月1日
			上里保育園幼年消防クラブ	69	昭和62年9月1日
	紀伊長島管内		紀伊長島幼稚園幼年消防クラブ	13	平成5年11月1日
合 計				477	

消 防 団

- ◎ 消防団現勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- ◎ 消防団員報酬状況、消防団員諸手当状況、市町別消防団出動状況・・ 46
- ◎ 年齢別消防団員数、在職年数別消防団員数・・・・・・・・・・ 47
- ◎ 消防団ポンプ配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48



地域を守る消防団
尾鷲市・紀北町

消防団現勢

平成30年4月1日現在

市町別 区 分		総 計	尾 鷲 市	紀北町
消 防 団 本 部		2	1	1
分 団 数		25	15	10
定 員 数		680	260	420
実 団 員 数		586 (39)	200 (16)	386 (23)
階 級 別 人 員	団 長	2	1	1
	副 団 長	4	2	2
	方 面 隊 長	2		2
	分 団 長	25 (3)	15 (1)	10 (2)
	副 分 団 長	23 (3)	13 (1)	10 (2)
	部 長	52 (3)	17 (1)	35 (2)
	班 長	95 (7)	26 (3)	69 (4)
	団 員	383 (23)	126 (10)	257 (13)
消 防 車 両 等 (台)	団本部指令車	1	1	
	普通ポンプ自動車	2	2	
	普通積載車	28	16	12
	軽四積載車	19	4	15
	小型動力ポンプ	51	21	30
	資機材搬送車	8	4	4
	可搬式送水装置	2		2
詰 所		44	15	29

()内は女性消防団員数

消防団員報酬状況

平成30年4月1日現在

階級別 市町別	団長	副団長	方面 隊長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員
尾 鷲 市	83,000	58,000		34,000	21,000	17,000	14,000	12,000
紀 北 町	83,000	58,000	50,000	33,000	21,000	17,000	14,000	11,000

消防団員諸手当状況

平成30年4月1日現在

区 分 市町別	出動手当	訓練手当	警戒手当	機関員手当	整備手当
尾 鷲 市	4,600	3,700	3,700		3,700
紀 北 町	4,600	4,100	4,100		4,100

※紀北町の整備手当は、月(分団毎)

市町別消防団出動状況

平成29年中

市町別 区 分			総計	尾鷲市	紀北町
出動回数			141	43	98
出動延人員			5,027	2,120	2,907
出 動 内 容	火災	回 数	4	1	3
		延人員	31	2	29
	風水害	回 数	7	3	4
		延人員	456	207	249
	演習・訓練	回 数	68	19	49
		延人員	3,583	1,556	2,027
	特別警戒	回 数	8	3	5
		延人員	354	23	331
	捜索	回 数	1		1
		延人員	2		2
	救助活動	回 数			
		延人員			
	その他	回 数	53	17	36
		延人員	601	332	269

年 齢 別 消 防 団 員 数

平成30年4月1日現在

市町別 区 分	総計	尾 鷲 市	紀北町
18歳～20歳	3	1	2
21歳～25歳	20 (3)	9 (1)	11 (2)
26歳～30歳	24 (4)	7 (2)	17 (2)
31歳～35歳	52 (2)	14 (1)	38 (1)
36歳～40歳	92 (2)	27 (2)	65
41歳～45歳	117 (4)	21 (1)	96 (3)
46歳～50歳	108 (7)	38 (4)	70 (3)
51歳～55歳	89 (10)	34 (2)	55 (8)
56歳以上	81 (7)	49 (3)	32 (4)
合 計	586 (39)	200 (16)	386 (23)

()内数は女性消防団員

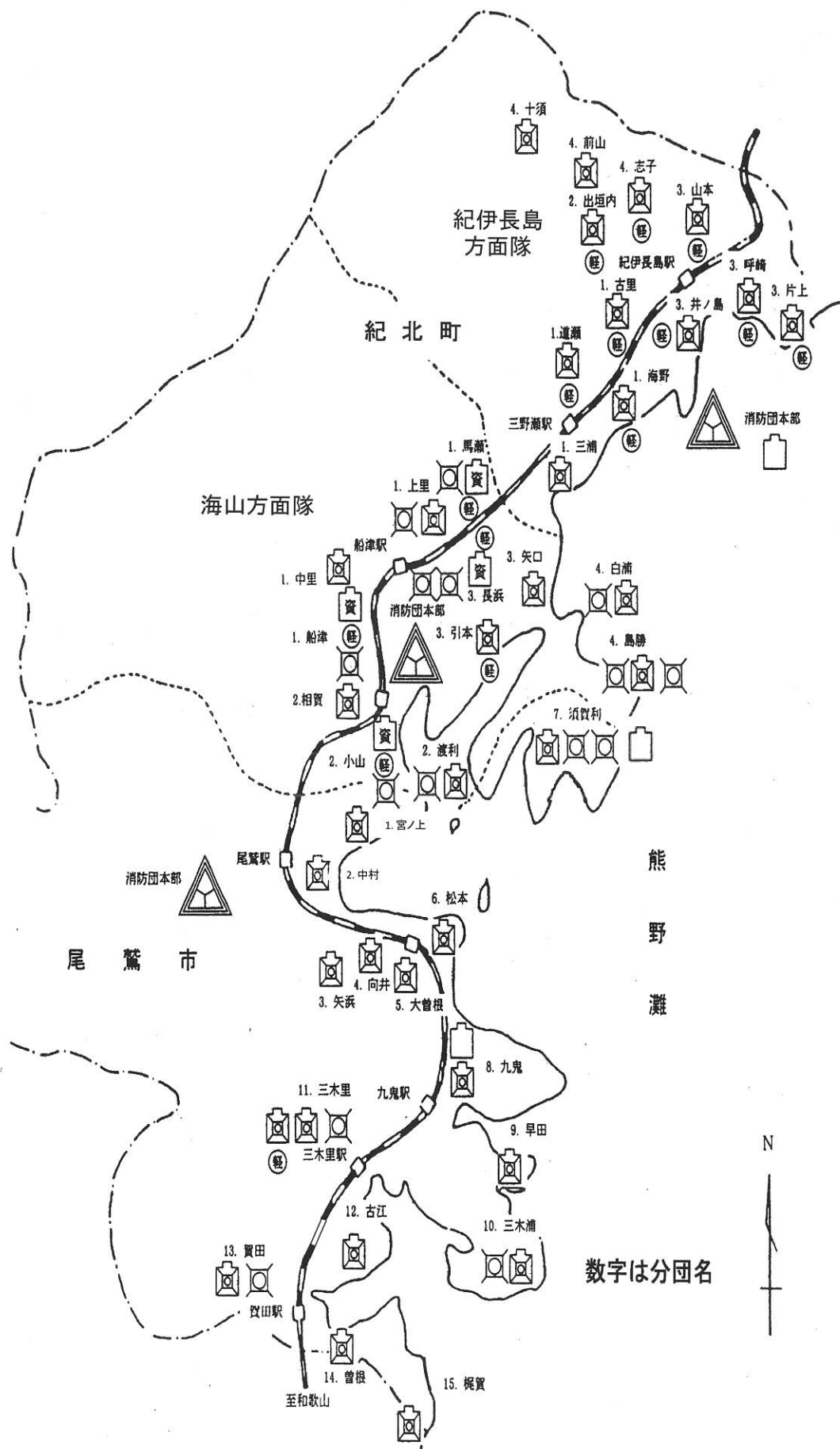
在 職 年 数 別 消 防 団 員 数

平成30年4月1日現在

市町別 区 分	総計	尾 鷲 市	紀北町
5年未満	98 (12)	36 (4)	62 (8)
5年以上 10年未満	116 (12)	50 (8)	66 (4)
10年以上 15年未満	97 (3)	28 (1)	69 (2)
15年以上 20年未満	85 (4)	19 (2)	66 (2)
20年以上 25年未満	100 (8)	35 (1)	65 (7)
25年以上 30年未満	57	19	38
30年以上 35年未満	30	13	17
35年以上	3	0	3
合 計	586 (39)	200 (16)	386 (23)

()内数は女性消防団員

消防団ポンプ配置図



忘れてない？

サイフにスマホに

火の確認



平成30年 6月発行

三重紀北消防組合消防本部

〒519-3639

三重県尾鷲市中川28番43号

TEL 消防総務課 総務係	0597-22-2021
E-mail	kihoku.soumu@za.ztv.ne.jp
消防総務課 消防係	0597-22-8679
E-mail	kihoku119@ztv.ne.jp
予防課	0597-22-2051
E-mail	kihoku.yobou@za.ztv.ne.jp
通信指令室	0597-23-2119
E-mail	tsuushin119@zc.ztv.ne.jp
FAX 消防本部	0597-22-6392

Number 119